

会 告 目 次

「学会誌特集セミナー：グループウェアの実現に向けて」開催案内	色紙
全国大会講演論文集（セット）継続購入のお勧め	色紙
研究発表会開催通知	2
第 19 回 人文科学とコンピュータ研究会	3
第 95 回 データベースシステム研究会	3
第 31 回 情報学基礎研究会	4
第 97 回 自然言語処理研究会	4
第 50 回 ヒューマンインタフェース研究会	5
第 72 回 記号処理研究会	6
第 2 回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会	6
第 62 回 マルチメディア通信と分散処理研究会	6
第 94 回 ソフトウェア工学研究会	8
第 29 回 コンピュータと教育研究会	8
第 90 回 人工知能研究会	8
第 85 回 コンピュータビジョン研究会	9
研究発表会開催予定	12
「研究グループについて」	13
研究会参加・発表申込方法・研究報告について	14
研究会発表申込書	15
自然言語処理研究会小規模国際会議論文募集および参加案内	16
大学等における一般情報処理教育の在り方に関する調査研究報告書頒布のお知らせ	17
第 47 回 全国大会（平成 5 年後期）概要について	18
第 48 回 全国大会（平成 6 年前期）の開催について	18
全国大会論文集継続購入申込書	19
「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム」論文募集	20
「1994 年情報学シンポジウム」論文募集	21
「グラフィクスと CAD」シンポジウム開催について	22
「コンピュータシステム・シンポジウム」開催について	25
情報システム研究会 Gordon B. Davis 博士 特別講演会のお知らせ	27
「連続セミナー 93」参加申込/議事録バックナンバー申込書	28
コンピュータ音楽国際会議 (ICMC) 1993 開催のご案内	29
本会協賛等の行事案内	30
本学会論文誌への投稿論文原稿の取り扱いに関する規約の改訂について	31
支部だより	31
会 議 案 内	32
教 官 募 集	34
雑 報	36

研究発表会開催通知

(平成5年8月15日～9月30日)

研究会名	日時		会場	備考
*システムソフトウェアとオペレーティング・システム	8月18日(水)	8:45～17:45	鞆シーサイドホテル	前号参照
*人工知能	8月18日(水) 8月19日(木)	9:15～17:45 8:45～10:15	同 上	同 上
*アルゴリズム	8月19日(木)	10:30～15:30	同 上	同 上
*計算機アーキテクチャ	8月19日(木) 8月20日(金)	13:30～17:45 8:45～17:45	同 上	同 上
*ハイパフォーマンスコンピューティング	8月19日(木) 8月20日(金)	15:45～17:45 8:45～17:15	同 上	同 上
*プログラミング —言語・基礎・実践—	8月19日(木) 8月20日(金)	15:45～17:15 8:45～17:45	同 上	同 上
グラフィクスとCAD	8月19日(木) 8月20日(金)	13:00～17:00 9:30～16:00	スズキ荘観月園	同 上
グループウェア	8月27日(金)	10:00～16:30	工学院大	同 上
人文科学とコンピュータ	9月3日(金)	10:00～17:00	ミネソタ大秋田校	下記参照
データベースシステム	9月9日(木)	10:10～18:10	N T T(横須賀)	同 上
情報学基礎	9月14日(火)	10:00～15:45	工学院大	同 上
自然言語処理	9月16日(木) 9月17日(金)	10:00～17:50 10:00～17:10	リコー(中研)	同 上
ヒューマンインタフェース	9月17日(金)	9:20～17:00	機械振興会館	同 上
記号処理	9月17日(金)	13:00～16:30	新情報処理開発機構	同 上
オーディオビジュアル 複合情報処理	9月17日(金)	13:30～17:00	工学院大	同 上
マルチメディア通信と 分散処理	9月20日(月) 9月21日(火)	13:00～16:40 9:30～16:45	機械振興会館	同 上
ソフトウェア工学	9月21日(火)	10:30～17:00	日大(理工)	同 上
コンピュータと教育	9月24日(金)	11:00～16:00	筑波大	同 上
人工知能	9月28日(火)	10:40～17:10	富士通(幕張)	同 上
コンピュータビジョン	9月30日(木)	10:00～16:30	三洋電機	同 上

*研究会連続・同時開催(SWoPP'93)

◆第19回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 及川昭文, 幹事: 竹内 健, 長瀬真理, 八村広三郎)

日 時 平成5年9月3日(金) 10:00~17:00

会 場 ミネソタ州立大学秋田校

[秋田県河辺郡雄和町椿川字奥椿岱193-2, JR: 秋田下車, 奥羽本線(1時間に1本): 和田下車, タクシー(約5分) または秋田空港よりタクシー(約5分). Tel.(0188)86-3000]

議 題 小特集: 日本語教育

-10:00~11:30-

(1) コンピュータを利用した漢字力診断テスト(CAT)の開発(1) -テスト項目と診断方法-

加納千恵子(筑波大)

[概要] 外国人学習者の漢字力を12項目に分けて自動評価し, 学習指導に役立つ診断を行うためのテストを作成。

(2) コンピュータを利用した漢字力診断テスト(CAT)の開発(2) -システムの仕様と開発-

山元啓史(筑波大)

[概要] 漢字診断テストのシステムの設計・仕様・開発過程およびシステム化における問題と解決について。

-13:30~17:00-

(3) 「漢字ノートブック」について

ケルマン・ヨウニ(ヘルシンキ経済商科大), 藤田正春(富山大)

[概要] 外国人の日本語学習者がパソコンを利用して行う漢字学習システムについて報告する。

(4) CASTEL/Jの評価と今後の課題 苗加幸春(ノス), 小松幸廣, 坂谷内勝(国立教育研), 及川昭文(茨城大)

[概要] 当システムを利用者側およびシステム技術者からみた評価と残された課題について意見を述べる。

(5) コンピュータプログラム制作者の法的責任

河村正憲

[概要] 製造物性の検証, 責任論の論理再構築(試論) -最終製品とその製造者, 責任の内部分配-

(6) 音声対話ディスクコースとそのプログラム化

仁科貴久子(東工大)

[概要] 理工系留学生のセミナーでの対話にみられるパラフレーズから理解にいたる過程のプロトタイプ化の試み。

◆第95回 データベースシステム研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 増永良文, 幹事: 井上 潮, 鶴岡邦敏, 吉川正俊)

日 時 平成5年9月9日(木) 10:10~18:10

会 場 NTT 横須賀研究開発センター

[横須賀市武1-2356, 京浜急行: 野比下車, 京浜急行バス(横須賀市民病院, または通信研究所行): 通信研究所下車(11分). Tel.(0468)59-2610]

議 題

-10:10~11:00-

●見学: NTT横須賀研究開発センター内

-11:10~12:20-

●一般発表

(1) RDBMS 設計に対するオブジェクト指向技法の適用

赤間浩樹, 武田英昭(NTT)

[概要] 継承の3つの利用技法に着目し, DBMS 設計への標記技法の適用手法とその効果を述べる。

(2) 構造検索機能と継承演算子を持つオブジェクトベース言語

吉川正俊(奈良先端大)

[概要] 各オブジェクトが組と集合の双方を有するObaseモデルのための代数とそれに基づく言語を論じる。

-13:20~18:10-

(3) マルチメディアデータベースにおける知識を用いた内容検索

岸田節子, 吉高淳夫, 吉光正典, 平川正人, 市川忠男(広島大)

[概要] データの意味内容に関する知識を提供し, MMDBにおける内容検索を行う手法について述べる。

●特集: ネットワークとデータベース

(4) Cracow International Workshop on Network Management'93 報告

山室雅司(NTT)

[概要] 標記ワークショップについて会議全体の様子を伝えるとともにネットワーク管理分野の動向を紹介。

(5) OODBを用いたネットワーク環境データベース -自律オブジェクトのモデルとその応用-

明田行史, 村田美恵, 日野厚博(AIC), 布川博士(東北大), 増永良文(情報大)

[概要] 自律オブジェクトモデルを用いた実世界データの取得, および更新内容の実世界への反映について。

(6) 知的分散データベースにおけるデータ管理方式

永瀬恵子, 原嶋秀次(東芝)

[概要] 集中管理部をまったく持たない分散リレーショナルデータベースのデータ管理方式について述べる。

(7) OSI管理情報ベース(MIB)用データベースの実装

西山 智, 堀内浩規, 横田英俊, 小花貞夫, 浅見 徹, 鈴木健二(KDD)

[概要] 多量の網管理情報を高速に扱うMIB用のデータベースソフトウェアの実装を報告する。

(8) 多空間ディレクトリシステム(MSDS)

関 京華(東大)

- [概要] 従来DSの単一木のかわりに資源を帰属と分類によって多空間に分割して大規模分散環境に適応する。
 (9) ディレクトリ情報トリー制御方式の実装と評価 藤原 進, 福村好美 (NTT)
 [概要] 公衆サービスを想定したトリー構成モデルおよび処理量や格納効率の評価。
 (10) RDBMSによるOSIディレクトリの実現 空 一弘, 岸本康成, 渡辺一成, 窪田光裕 (NTT)
 [概要] ディレクトリのSEARCHプロトコル操作を重視したテーブル設計を行い, その性能を評価した。

◆第31回 情報学基礎研究会

(発表件数: 9件)

(主査: 細野公男, 幹事: 石塚英弘, 中川 優, 尹 博道)

日 時 平成5年9月14日(火) 10:00~15:45

会 場 工学院大学 11階 第7会議室

[東京都新宿区西新宿1-24-2, JR:新宿(西口)下車, 徒歩約10分, Tel.(03)3342-1211]

議 題 -10:00~12:00-

- (1) 秤量問題における情報エントロピーの意義 -教育的視点から- 古関 政 (九州東海大)
 [概要] 秤量問題は情報量の意味を考えるのに適した教材であり, この古典的問題の種々相にわたり検討した。
 (2) 分散オブジェクト環境におけるメディアブラウザの開発 田中哲雄, 神野俊昭 (日立)
 [概要] 任意のアプリケーションから利用可能なメディアデータのブラウザ(縮小一覧表示・頁めくり)の開発。
 (3) 分散システムにおけるオブジェクト管理の一考察 吉屋英二, 藤野晃延 (富士ゼロックス情報システム)
 [概要] 分散システムをオブジェクト指向に実現する際のオブジェクトの管理方法を実現方式について考察した。
 (4) クラスライブラリのカテゴリについて 羽生田栄一, 藤野晃延 (富士ゼロックス情報システム)
 [概要] クラスライブラリの理解と再利用性のためのカテゴリ構成と利用意図という観点から考察する。

-13:00~15:45-

- (5) 各個人の使用するキーワードの違いを考慮した情報検索システム 鈴木亮一 (NTT)
 [概要] ユーザの観察結果を報告し, キーワードに対するメンタルモデルの差を吸収する検索システムを提案する。
 (6) 文書の構造解析に基づく文書情報検索 三池誠司, 小野顕司, 住田一男 (東芝)
 [概要] 自然言語処理を用いて技術論文の論理的構造を解析し, 文書情報検索の精度向上を図る。
 (7) リストベースの2重化テキスト 酒井和男 (NTT)
 [概要] 既存テキストの一部分を切り出し裏テキストと自由に置き換え個人情報化するためのシステムを試作。
 (8) 抄録からのキーワードの自動抽出 原田隆史, 細野公男 (慶大), 野美山浩, 諸橋正幸 (日本IBM)
 [概要] 抄録中におけるキーワードの出現特徴を分析し, 抄録中からのキーワードの自動抽出を試みた。
 (9) マニュアル文章検索システムTECS/M -検索機能と評価- 山田洋志, 大山 裕 (NEC)
 [概要] TECS/Mの構成と検索機能, および実際の運用にあたっての評価と問題点について述べる。

◆第97回 自然言語処理研究会

(発表件数: 19件)

(主査: 野村浩郷, 幹事: 永井秀利, 林 良彦, 丸山 宏)

日 時 平成5年9月16日(木) 10:00~17:50

17日(金) 10:00~17:10

会 場 リコー 中央研究所 C3会議室

[横浜市港北区新栄町16-1, 地下鉄(市営):仲町台下車, 徒歩5分(新栄高校前), Tel.(045)593-3411]

議 題

9月16日(木) -10:00~12:00-

- (1) 親族名称の分析について 鷺山真澄 (京都外語大)
 [概要] 談話処理において対人関係は重要な要素であり社会言語学観点より親族名称のシソーラスを示す。
 (2) 代動詞doの考察 鷺山真澄 (京都外語大)
 [概要] 自然言語処理で困難な多義性, 省略, 代名詞と同様に考察されるべき代動詞doの意味処理を検討する。
 (3) 視点と焦点の関係に基づく日本語談話の照応解決 清水一澄, 横尾英俊 (群馬大)
 [概要] 談話の開始の2文の構造を分類し, 第1文から第2文の主題を予測して日本語の照応解決に利用する。

-13:00~17:50-

- (4) 用例に基づく派生語の確率的解析 市丸夏樹 (九大), 中村貞吾 (九工大), 宮本義昭 (日本ユニシス), 日高 達 (九大)
 [概要] 名詞と接尾語の接続性をシソーラスと用例を用いてとらえ, 仮名漢字変換実験を行った。
 (5) 2重マルコフモデルによる日本語の誤り検出並びに訂正法 荒木哲郎 (福井大), 池原 悟 (NTT), 塚原信幸 (福井大)
 [概要] 2重マルコフモデルを用いて, 誤字・脱落・挿入誤り文字を検出・訂正する方法とその実験結果を示す。
 (6) Bigramを用いたオンライン文字認識の後処理法 伊東伸泰 (日本IBM)

- [概要] 文字遷移確率に品詞を属性として導入し、記憶容量と効果を両立させた後処理手法を紹介する。
- (7) チャートパーザによる音声認識候補の効率的解析手法 田代敏久, 竹沢寿幸 (ATR), 永田昌明 (NTT)
- [概要] 入力共通部分共有とアジェンダ制御による複数の音声認識候補の効率的解析手法の提案と実験。
- (8) 一般化されたチャート法によるアブダクション計算 伝 康晴 (ATR)
- [概要] チャートを用いた効率的なアブダクション計算法を提案し、統合的自然言語処理への応用を述べる。
- (9) エスペラント語について 鷺山真澄 (京都外語大)
- [概要] エスペラント語は国際語として人工的に作られた言語でありその特性を探求し応用理論を提示する。
- [概要] 国際語としての英語変種について -アジアの英語を中心に- 鷺山真澄 (京都外語大)
- (10) アジアで使用されている国際語としての英語変種の紹介により英日機械翻訳の役割の重要性を述べる。

9月17日(金)

-10:00~12:00-

- (11) 対話的文書検索のための文書構造解析 住田一男, 小野頭司, 三池誠司 (東芝)
- [概要] 全文検索を対象として効率的な検索と提示を行うため章構造、各章中の文章の構造解析について述べる。
- (12) 法律条文の基底構造 -自然言語による知識処理を旨として- 田中規久雄, 川添一郎, 成田 一 (阪大)
- [概要] 法律条文の認知構造を形式的構文として表層化し、それについて概念木構造 (CTS) 分析を試みる。
- (13) 日本語による対象分野知識の獲得 谷 幹也, 市山俊治 (NEC)
- [概要] 対象領域に関する日本語説明文からDB用日本語インタフェースに必要な概念間関係を獲得する手法。

-13:00~17:10-

- (14) 語義曖昧性を考慮した有意な語彙連鎖の生成 本田岳夫, 奥村 学 (北陸先端大)
- [概要] 語義曖昧性を解消し、タイトル語情報などを用いて語彙結束性をあらかじめ有意な語彙連鎖を取り出す。
- (15) 複合語キーワードの自動抽出法 小川泰嗣, 広瀬雅子, 別所礼子 (リコー)
- [概要] 日本語文書の形態素解析結果から複合語キーワードを高精度かつ効率的に抽出する方法を提案する。
- (16) カタカナ表記の統一方式 -予備分類とグラフ比較によるカタカナ表記のゆらぎ検出法- 久保田淳市, 庄田幸恵, 河合真宏, 杉村領一, 玉川博文 (松下電器)
- [概要] ゆらぎ規則に基づいて生成したグラフ形式の中間形式同士を比較し精度良く検出する方法を提案する。
- (17) カタカナ表記からの英単語検索システムの実現 宮内忠信 (富士ゼロックス)
- [概要] 検索キーの柔軟性を高める一手法として、ゆれを含むカタカナ表記からの英単語の検索を可能にした。
- (18) 訳語ルビふり英文の可読性評価 大黒慶久 (リコー)
- [概要] 英単語にその和訳語をルビ状に添えた英文の読解支援効果を官能試験によって明らかにする。
- (19) 日本語校正支援システム FleCS -ミスタイプ検出について- 脇田早紀子, 奥村 薫 (日本IBM)
- [概要] 形態素列・字種・単語長などのパターンに、細かい経験則を加えてミスタイプ検出率の向上を図る。

◆第50回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数: 11件)

(主査: 安西祐一郎, 幹事: 井関 治, 小川克彦, 来住伸子)

日 時 平成5年9月17日(金) 9:20~17:00

会 場 機械振興会館 6階 66号室

[東京都港区芝公園3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, またはJR: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車. Tel.(03)3434-8211]

議 題

-9:20~10:30-

●入カインタフェース

- (1) 二次元グラフィックエディタの拡張について 美馬義亮, 坂入 隆, 野田晴義 (日本IBM)
- [概要] 外部から制御可能なグラフィック・エディタの試作: 内部構造ならびに応用。
- (2) 機能列および機能設定値の個人適応インタフェースモデルの提案 炭野重雄, 宮武孝文, 上田博唯 (日立)
- [概要] 機能列と設定値の組合せの使用頻度を蓄積し、頻繁に利用されるものを抽出することによるマクロ化。

-10:40~12:25-

●ユーザインタフェース評価

- (3) HI設計チェックリストとそのユーザビリティ評価 加藤秀一, 堀江憲一, 小川克彦, 木村重良 (NTT)
- [概要] 使い易さや分かり易さを誰もが評価できるチェックリストと、評価結果の客観性および有用性の検証。
- (4) UIテストにおける共通誤対話の分析 岡田英彦 (NEC), 大津裕司 (NEC技術情報システム開発), 旭 敏之, 井関 治 (NEC)
- [概要] ユーザ間に共通する誤対話パターンを自動抽出し、個人差に依存しない客観的な評価を行う手法の提案。
- (5) 複合作業に関する操作性評価モデル -DTM- 黒須正明 (日立), 斎藤 徹, 上田陽一, 森田祥一郎 (ザナヴィインフォマティクス)
- [概要] 主作業に割り込む形で副作業が行われている状況において、その操作効率を評価するモデルの開発。

●福祉特集 ー入力技術ー

(6) 手話ワープロ構築に関する基礎研究 松本 崇, 鎌田一雄 (宇都宮大)

[概要] 日本語かな文を入力し, 同時法の手話単語列を生成する手話ワープロシステム構築の検討。

(7) スキャン方式による肢体不自由者用キーボードシミュレーションプログラムの開発 小山智史 (弘前大)

[概要] 1 接点外部スイッチで候補文字から選択する重度肢体不自由者用シミュレーションプログラムの開発。

(8) ALS 患者のための CA の入力方法

加納尚之 (米子高専), 井上倫夫, 小林康浩 (鳥取大), 井上公明 (鳥取赤十字病院)

[概要] 患者の顔の動きから諾否の合図を検出し, CA の制御信号とする方法。

●福祉特集 ー出力技術ー

(9) 盲人用図表現システムのための基礎的研究 皆川洋喜, 伊藤毅志, 大西 昇, 杉江 昇 (名大)

[概要] いくつかの心理実験に基づく, 「盲人にとって理解しやすい地図表現とは何か」についての考察。

(10) リアルタイム話速変換を用いた対話補助方式の提案 禰寝義人, 在塚俊之 (日立)

[概要] 高齢者/難聴者の聞き取り補助のための音声を「ゆっくり」に変換する発話変換方式の検討。

(11) イントネーションを制御できる人工喉頭の実用化研究 上見憲弘, 高橋 誠, 伊福部達, 松島純一 (北大)

[概要] イントネーションを呼気量で制御する電気人工喉頭の開発と, 実用化を目指した評価。

* 今回の研究会は電子情報通信学会 (ヒューマンコミュニケーション研究会) との共催で開催されます。

◆第72回 記号処理研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 小川貴英, 幹事: 天海良治, 寺田 実, 湯浦克彦)

日 時 平成5年9月17日 (金) 13:00~16:30

会 場 新情報処理開発機構 会議室

[つくば市竹園1-6-1 つくば三井ビル13階, 東京駅八重洲南口より常磐高速バス(つくばセンター行): つくばセンター下車 (約1時間), 徒歩2分, または, JR (常磐線): 荒川沖 (東口) 下車, 関東鉄道バス (筑波大中央行): つくばセンター下車 (約30分), 徒歩2分, Tel.(0298)53-1653]

議 題

(1) PaiLisp と PaiObject の処理系 田村清朗, 伊藤貴康 (東北大)

[概要] PaiLisp とそのオブジェクト指向言語 PaiObject の並列インタプリタについての報告。

(2) 並列 Lisp システムにおける Speculative Computation に関する研究 高橋尚子, 中西正和 (慶大)

[概要] Sponsor モデルを基に作成した並列 Lisp システムにおいて不要なタスク生成を最小限に抑える。

(3) 循環構造に適用可能なリファレンスカウント方式 GC

前田宗則, 小中裕喜, 石川 裕, 友清 孝, 堀 敦史 (RWCP)

[概要] 循環構造と重み付き参照を取り扱う, インクリメンタルなリファレンスカウント方式 GC を提案する。

(4) RWC と記号処理 (予稿集なし) 岡 隆一 (RWCP)

[概要] RWC プロジェクトでの研究を紹介するとともに, 記号処理との関わりを討論する。

◆第2回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 富永英義, 幹事: 二宮佑一, 村上仁己, 安田 浩)

日 時 平成5年9月17日 (金) 13:30~17:00

会 場 工学院大学 28階 第1会議室 (所在地は前記参照)

議 題 テーマ: LAN におけるマルチメディア環境の実現

(1) 情報冷蔵庫 富永英義, 小菅康晴 (早大)

(2) CSMA/CDLAN による映像通信サービスの実現 田尻哲男, 坂谷 徹, 秦泉寺浩史, 西村 孝 (NTT)

(3) ネットワーク仮想現実感による分散共同作業支援 中村暢達 (NEC)

(4) LAN における OSI とマルチメディア通信 笠原孝雄 (グラフィック・コミュニケーション・ラボラトリーズ)

* 今回の研究会は電子情報通信学会 (画像工学研究会), IEEE 東京支部 (BT グループ) との協賛で開催されます。

◆第62回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数: 17 件)

(主査: 白鳥則郎, 幹事: 鈴木健二, 滝沢 誠, 寺中勝美)

日 時 平成5年9月20日 (月) 13:00~16:40

21日 (火) 9:30~16:45

会 場 機械振興会館 地下3階 1号室 (所在地は前記参照)

議 題 特集: コミュニケーションと AI

9月20日(月)(13:00~13:50のプログラムは未定)

●コミュニケーションとAI

—14:00~15:00—

- (1) 招待講演：コミュニケーション・ネットワークと人工知能 村上天男(神奈川大)
 [概要] 意思疎通の手段としての通信と人工知能の関わりについて述べる。

—15:00~16:40—

- (2) Source Rate Switch Reduction : An Intelligent Self-Routing Switch for B-ISDN
 Emad Rashid, Hiroaki Kobayashi, Tadao Nakamura (Tohoku Univ.)
 [概要] B-ISDNのATMに関する新しいセルフルーティングスイッチングネットワークについて述べる。

- (3) Information, Intelligence & Algorithms for Efficient Network Management
 G. Mansfield, K. Jayanthi, Y. Kimura, Y. Nemoto (Tohoku Univ.)
 [概要] ネットワーク管理システムに関する情報記述とそれに基づく意志決定アルゴリズムについて述べる。

- (4) 通信ソフトウェア仕様記述支援環境における仕様再利用方法と事例ベース推論の適用性について
 吉村 晋(東芝), 白鳥則郎(東北大)
 [概要] 通信ソフトウェア仕様記述に対する事例ベース推論技術の適用性について筆者らの試みをもとに述べる。

- (5) リモート協同作業によるソフトウェア開発知的環境 小泉寿男, 鈴木昌則(三菱電機)
 [概要] 遠隔地の複数メンバーがコンピュータネットワーク経由でソフト開発協同作業を行う知的開発環境。

9月21日(火) —9:30~12:00—

- (6) やわらかいネットワークの開発へむけて 一知識型設計方法論— 白鳥則郎(東北大), 菅原研次(千葉工大)
 [概要] 標準に拘束されずに利用者に良質の新規サービスを提供するネットワークの開発を知識型で支援する。

- (7) 応用層プロトコルの知識型設計支援システムについて
 菅沼拓夫, 渡辺博之, 菅原研次(千葉工大), 木下哲男(沖電気), 白鳥則郎(東北大)
 [概要] OSI応用層プロトコルの知識型設計支援システムの構成と設計知識のモデルについて述べる。

- (8) 構成発見の世界 村山優子(WIDEプロジェクト)
 [概要] ネット環境において何が何処に存在するかを知覚する構成発見の分野の紹介とそれに関する諸問題の考察。

●プロトコル

- (9) OSIプロトコル実装のためのユーザデータをコピーしないバッファ制御方式
 加藤聰彦, 井戸上彰, 鈴木健二(KDD)
 [概要] ユーザデータのコピーなしにOSIのプロトコルデータ単位の作成解析を行う方式を提案する。

- (10) フォールトトレラントグループ通信プロトコル 鈴木 等, 中村章人, 滝田 誠(電機大)
 [概要] グループ通信においてフォールトトレラントな通信サービスを提供するプロトコルを論じる。

- (11) 信頼性のあるデータグラム通信機構 山本 学(日本IBM)
 [概要] 信頼性のあるコネクションレスなデータグラム通信プロトコルの実装方法の一例を示す。

—13:00~13:50—

●ネットワークシステム

- (12) マルチメディア衛星通信に関する考察 嶋本 薫, 角田真徳, 前沢裕之, 小野里好邦(群馬大)
 [概要] 衛星回線を利用した多地点間でのマルチメディア通信における接続方式を提案する。

- (13) 相互接続試験システムAICTSにおける試験スイートの検討
 後藤邦弘, 似内 聡, 高橋健一, 石幡吉則, 高橋 薫(AIC)
 [概要] 相互接続試験を行うための状態遷移表形式実行型試験スイートの仕様について述べる。

—14:00~15:00—

- (14) 招待講演：自然音声を認識・翻訳する技術 飯田 仁(ATR音声翻訳通信研究所)
 [概要] 音声対話を計算機が自由に扱えるための音声認識や翻訳技術の課題と今後取り組むべき解決手法など。

—15:30~16:45—

- (15) オブジェクト指向ネットワーク管理 北橋雅子(IPA), 野口正一(日大)
 [概要] 実用的なオブジェクト指向によるネットワーク管理システムについて説明し、今後の課題について述べる。

- (16) 統合マルチメディア情報網の構成 林 恒俊(立命館大), 久保正敏(京大)
 [概要] 統合マルチメディア情報網の機能を実装する手法について詳細に検討し、その実現可能性を検証する。

- (17) 分散型リアルタイム系協同文書処理機能のための開放型遠隔文書操作機能(RODE)の提案および実装評価
 中尾康二, 田中俊昭, 鈴木健二(KDD)
 [概要] 協同文書執筆, 電子契約などに適用できるOSIに基づく開放型遠隔文書操作機能の提案評価を行う。

* 今回の研究会は電子情報通信学会(人工知能と知識処理研究会)との共催で開催されます。上記会告は7月7日現在の申込みによるもので、上記期日以降の申込み分と発表時間を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌8月号に掲載されますのでご了承ください。

◆第94回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 磯田定宏, 幹事: 青山幹雄, 大蒔和仁, 深澤良彰)

日 時 平成5年9月21日(火) 10:30~17:00

会 場 日本大学 理工学部 理工学研究所 メディア科学研究室 (8号館・2階)

[東京都千代田区神田駿河台1-5-2, JR, 地下鉄: 御茶ノ水, 新御茶ノ水下車, 徒歩5分, Tel.(03)3293-3251]

議 題

(1) CASE 統合化技術を用いたソフトウェア開発・管理方法

藤井 諭, 旭岡裕子, 中村智法, 大西伸幸 (松下通信)

[概要] 対象システムによって異なる最適な開発環境を構築する方法, および実システム開発への適用結果。

(2) Quality and Process Improvement Database (QPID)

新谷勝利, 岡田光隆 (日本IBM)

[概要] ソフトウェア開発全ライフサイクルの管理を各局面で発生するデータを通して統合的にするツール紹介。

(3) OMT 法による日本語ワープロの開発事例

白井 豊, 加藤達哉, 森 俊也, 角 史生, 中嶋章子, 河合真宏, 石川雅彦, 柿ヶ原康二 (松下電器)

[概要] OMT 法を日本語ワープロの分析/設計に適するように改良を加え, 開発を行った事例を報告する。

(4) OMT 法における画像ファイリングシステムの分析 —拡張容易性と分析指針— 中里 竜, 吉田和樹 (東芝)

[概要] システムの部分の分析結果をもとに機能を追加し, 拡張容易性の確認と分析指針の作成を行った。

(5) オブジェクト指向に基づく要求記述からの形式的仕様の導出手法

滝沢陽三, 上田賀一 (茨城大)

[概要] 日本語の記述文からOMT記法に基づくモデル図を自動生成するための手法を提案する。

(6) プロトタイピングのためのモデル記述言語と支援環境

清水俊吾, 上田賀一 (茨城大)

[概要] 実行可能なモデルを記述するためのモデル記述言語と作成・実行を支援する環境について報告する。

(7) 述語論理型仕様を用いた部品検索とその評価 栗野俊一 (日大), 松澤裕史 (日本IBM), 深澤良彰 (早大)

[概要] 述語論理型仕様をもつ部品データベースから要求部品を高速に検索・合成する手法とその評価について。

(8) 個人の言語によるプログラム作成システム

小林 要, 木村高久 (富士通研)

[概要] 個人の言語でプログラムを作成し, 実装方法をデータ化し, 実装言語を自由に選べるツールの試作。

*今回の研究会は電子情報通信学会(ソフトウェアサイエンス研究会)との共催で開催されます。上記会告は6月末日現在の申込みによるもので、上記以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは、電子情報通信学会誌8月号に掲載されますのでご了承ください。

◆第29回 コンピュータと教育研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 一松 信, 幹事: 三好和憲, 矢野米雄, 吉田瑞穂)

日 時 平成5年9月24日(金) 11:00~16:00

会 場 筑波大学 大会会館 3階 第4会議室

[つくば市天王台1-1-1, 東京駅八重洲(南口)より常磐高速バス: つくばセンター行で終点下車(約60分), 筑波大学中央行に乗換え: 第三学群棟前下車(約10分), 徒歩10分, Tel.(0298)53-4291]

議 題 テーマ: 数式処理

—11:00~11:40—

(1) 多倍長ソフトを用いた計算機教育

木田裕司 (立教大), 牧野潔夫 (工学院大)

[概要] 任意多倍長浮動小数点計算を組み込んだ計算機言語による計算機教育について事例報告する。

—13:00~16:00—

(2) Feynman 振幅の自動計算

加藤 潔 (工学院大)

[概要] 数式処理システムReduceによるFeynman振幅の自動計算について述べる。

(3) 数式処理機能付き数式エディタの開発

内山靖文, 三好和憲 (工学院大)

[概要] パソコン上で数式の編集・代数式評価・数値評価・可視化を行うシステムについて述べる。

(4) 近似多項式の興味深い性質

佐々木建昭 (工学院大)

[概要] 多項式の近似因子の精度および正規化剰余列のいくつかの興味深い性質を述べる。

(5) 近似代数の制御理論への応用

北本卓也 (筑波大)

[概要] 浮動小数を係数とする冪級数を代数的に扱うことにより, 柔軟で有用な算法が構成できる。

*研究会終了後, 希望者には筑波大学学術情報処理センター教育システムの見学会を行います。

◆第90回 人工知能研究会

(発表件数: 9件)

(主査: 石塚 満, 幹事: 橋田浩一, 沼尾正行, 吉田裕之)

日 時 平成5年9月28日(火) 10:40~17:10

会 場 富士通幕張システムラボラトリ 20階 セミナールーム

[千葉市美浜区中瀬1-9-3, JR(京葉線): 海浜幕張下車, 徒歩10分, Tel.(043)299-3100 (二藤部)]

議 題

—10:40~11:40—

(1) 多項式時間帰納学習アルゴリズム

森田千絵, 月本 洋 (東芝)

[概要] 論理の幾何的モデルを応用した近似学習アルゴリズムの性能実験について述べる。

(2) 帰納推論による論理プログラムと規則性の学習

秋葉澄孝, 佐藤泰介 (電総研)

[概要] 従来の帰納論理プログラミングシステムでは求められない節を帰納推論できるシステムについて述べる。

—13:00~17:10—

(3) 研究所紹介: 富士通研究所情報社会科学研究所 (予稿集無し)

上田晴康 (富士通研)

[概要] 情報社会科学研究所について, 研究環境と研究の内容を並列プログラミンググループを中心に紹介する。

(4) 山登り法を用いた分散制約充足における組織化

平山勝敏, 山田誠二, 豊田順一 (阪大)

[概要] DCSP において, 局所最適解に陥ったエージェントが組織化するというアプローチを提案する。

(5) 様相節変換に基づく MGTP 上の様相論理証明器の効率的実現

赤埴淳一 (NTT), 井上克巳 (豊橋技科大), 長谷川隆三 (ICOT)

[概要] タブロー法書換規則の部分計算によるモデル生成型証明器 MGTP 上の効率的な様相論理証明器の実現。

(6) 拡張単一化を用いた論理プログラムの PAC 学習

山本章博 (北大)

[概要] 拡張単一化を用いて PAC 学習可能な論理プログラムのクラスを与える。

(7) ジョブショップスケジューリング問題と近傍探索法

山田武士, 中野良平 (NTT)

[概要] ジョブショップ問題の解空間を解析し, 問題に適した近傍探索法の提案および実験結果を報告する。

(8) Simulated Annealing による大規模生産計画問題の解法

湯上伸弘 (富士通研)

[概要] SA による大規模な多目的最適化問題の解法を生産計画問題を例として報告する。

(9) 新しい制約不等式に基づくネットワーク化バブル伝播法による高速仮説推論

大沢幸生, 石塚 満 (東大)

[概要] ネットワーク化バブル伝播法の知識構造を有効に生かすために基となる制約不等式を変更した仮説推論。

◆第 85 回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 6 件)

(主査: 杉原厚吉, 幹事: 井宮 淳, 谷口倫一郎, 長谷川純一)

日 時 平成 5 年 9 月 30 日 (木) 10:00~16:30

会 場 三洋電機 東京情報研究所 東京マーケティングプラザビル 5 階会議室

[東京都文京区本郷 3-10-15, JR, 地下鉄: 御茶ノ水, 新御茶ノ水下車, 順天堂病院方面へ徒歩 5 分, Tel. (03) 5803-3564 (吉川)]

議 題

—10:30~11:50—

(1) 離散 Jordan 曲面

剣持雪子, 井宮 淳, 市川 薫 (千葉大)

(2) 集合演算による濃淡画像の位相解析とその記述法

浅田卓哉, 井宮 淳, 市川 薫 (千葉大)

—13:20~16:30—

(3) 平均場アンニリング法 (MFA) を用いたテクスチャ画像の領域分割

阿南泰三, 工藤博幸, 斎藤恒雄 (筑波大)

(4) 物体同定, 位置姿勢推定のための多重方向ヒストグラムマッチング

田中弘一, 武川直樹 (NTT)

(5) ハンドアイ用位置姿勢認識の高速化とロバスト化

笹木美樹男, 斉藤英樹, 金山幸礼, 伊東正篤 (日本電装)

(6) CVPR'93 参加報告

浅田 稔 (阪大) 他

*研究会終了後, デモンストレーション (30 分程度) を予定しております。

◆アルゴリズム研究会

第 35 回研究会を下記のとおり開催いたします。前日には電子情報通信学会 (回路とシステム研究会) が同会場にて開催されます。詳細なプログラムは次号 (9 月号) に掲載いたします。奮ってご参加ください。

日 時 平成 5 年 10 月 1 日 (金) 9:30~15:15

会 場 新潟大学 大学院自然科学研究科 大会議室

議 題

(1) A Strategy for Robot Navigation in Unknown Environment and Its Efficiency

Aohan Mei, Yoshihide Igarashi (Gunma Univ.)

(2) 最適なメニュー階層構造を求めるアルゴリズム

高田喜朗, 辻野嘉宏, 都倉信樹 (阪大)

(3) 論理式充足可能性, 整数計画, 双線形計画

萩原 斉, 中森真理雄 (農工大)

(4) Don'tcare 記号つき文字列に対する近似マッチング・アルゴリズム

阿久津達也 (機械研)

(5) 二分決定グラフを用いたマンハッタン配線問題の解法に関する一考察

梅田達也, 戸川 望, 佐藤政生, 大附辰夫 (早大)

(6) 2 系統電源ネットの平面配線手法

田中 博, 佐藤政生, 大附辰夫 (早大)

(7) Approximating the Tree and Tour Covers of a Graph

Esther M.Arkin (SUNY Stony Brook), Magnus M.Halldorsson (JAIST Hokuriku)

Refael Hassin (Tel-Aviv Univ.)

* 9月30日に電子情報通信学会と合同の懇親会を予定しております。

◆人工知能研究会

研究発表会予定と変更のお知らせ

- 1月研究発表会 1月18日(火)・19日(水)に日程変更いたしました(於:神戸大学)
- 3月研究発表会 3月8日(火) 於:工学院大学

◆コンピュータビジョン研究会

メーリングリストIMAGEのご案内

メーリングリストIMAGEは、コンピュータビジョン、パターン認識・理解、画像処理等の研究者間の情報交換を円滑に行うことを目的として、情報処理学会(コンピュータビジョン研究会)、電子情報通信学会(パターン認識・理解研究会)の各委員をメンバーとして設立いたしました。

研究に関する議論、ミーティングの連絡、情報交換等、あらゆる目的にご利用ください(非営利目的に限ります)。

なお、本メーリングリストを使用するためには、登録が必要となります。ご希望の方は、下記問合せ先までご連絡ください。あなたのお知り合いのコンピュータビジョン、パターン認識・理解、画像処理等の研究者の方々も、是非お誘いください。

問合せ先 井宮 淳(千葉大) e-mail: imiya@ics.tj.chiba-u.ac.jp Tel.(043)290-3257 Fax.(043)290-3039

◆第10回 テクニカルコミュニケーション研究グループ研究会

(発表件数:3件)

(主査:山田尚勇, 幹事:牛島和夫, 空閑茂起, 福島敏高)

日 時 平成5年9月1日(木) 13:30~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 研修2号室(所在地は前記参照)

議 題

- (1) 工学院大学における「テクニカルコミュニケーション」教育カリキュラムの研究 村田 碩(工学院大)
- (2) テクニカルコミュニケーション育成講座の設計と実践 福地 勲(富士通)
- (3) アメリカのテクニカルコミュニケーション教育と日本の実情およびその改善・提案について 高橋昭男(テクニカルライター)

参加費 年間登録者:4000円/4回分, 未登録者:2000円

問合せ先 福島, 杉田(富士通) Tel.(03)3216-9725 Fax.(03)3215-5987

*日本工業技術振興協会(ユーズドキュメント研究部会)との共催で開催されます。

◆第2回 ドメイン分析/モデリング研究グループ

(発表件数:3件)

(主査:伊藤 潔, 幹事:伊藤光恭, 杵嶋修三, 佐伯元司)

日 時 平成5年9月30日(木) 13:00~17:00

会 場 東京工業大学 電気情報系会議室

[東京都目黒区大岡山2-12-1, 目蒲線・大井町線:大岡山下車, 徒歩10分. Tel.(03)3726-1111 (ext.2192 佐伯)]

議 題

- (1) 知識型設計方法論とその応用 木下哲男(沖電気)
- (2) 移動体通信システムへのオブジェクト指向設計適用事例 伊藤光恭(NTT)
- (3) ドメイン分析・モデリングの現状 伊藤 潔(上智大), 杵嶋修三(山武ハネウエル)

問合せ先 伊藤 潔(上智大) Tel.(03)3238-4143 Fax.(03)3238-3885

e-mail: itohkiyo@hoffman.cc.sophia.ac.jp

伊藤光恭(NTT) Tel.(03)3740-5715 Fax.(03)5479-9170 e-mail: ito@nttslb.ntt.jp

◆音声言語情報処理と音声入出力装置研究グループ

第5回研究会講演および参加募集案内

日 時 平成5年10月22日(金) 13:00~18:00

23日(土) 9:00~15:00

会 場 横浜市上郷森の家(横浜市栄区上郷町1499-1, Tel.(045)671-2121)

議 題 テーマ: 音声入出力機器の現状とヒューマンインタフェースの課題

今回は、要素技術としての音声認識/合成機器の現状と、ヒューマンインタフェースとしての課題を把握

することに焦点を当て、デモ実演、ビデオプレゼンテーションを中心に議論と情報交換を行う予定です。発表テーマは、「新しい要素技術」・「音声対話の言語現象」・「言語／対話モデル」・「マルチモーダル対話」などに関連するものであれば広く受け付けます。アイデア段階の発表・問題提起・サーベイ報告などを歓迎します。

参加費 一般：5,000 円，学生：2,000 円（宿泊費：9,000 円程度）

申込方法 本研究会は合宿形式で行います。講演，または参加ご希望の方は，下記問合せ先まで Fax か e-mail でご連絡ください。その際，ご所属，氏名，連絡先，住所，電話，Fax 番号を（お持ちでしたら e-mail 番号も）記入願います。

講演申込締切：平成 5 年 8 月 31 日（火）

原稿締切・参加申込締切：平成 5 年 9 月 25 日（土）

問合せ先 新田恒雄（東芝・情技研） Tel.(044)548-5352 Fax.(044)511-3172
e-mail : nitta@sp.ilab.toshiba.co.jp

* 電子情報通信学会（音声認識の実用化を目指す新手法時限研究専門委員会）との共催で開催されます。

研究発表会開催予定

(1993年10月～1994年3月)

(研究会名)	(開催日・会場他)
自然言語処理	11月19日(金) 電総研 1月20日(木)・21日(金) 阪大 3月18日(金) 北陸先端大
データベースシステム	10月29日(金) 広島 3月中旬 工学院大
人工知能	11月24日(水) 工学院大 1月18日(火)・19日(水) 神戸大 3月8日(火) 工学院大
記号処理	11月19日(金) 長野大 ※最適化コンパイラ技術(小特集) 1月14日(金) 工学院大 3月18日(金) NTT(武蔵野)
ソフトウェア工学	◎11月30日(火) 東工大 1月20日(木)・21日(金) 鹿児島大(PRG研合同) 3月1日(火) 工学院大
計算機アーキテクチャ	10月21日(木)・22日(金) ソニー(品川) ◎12月16日(木)・17日(金) 豊橋技科大 ※アーキテクチャとCAD(DA研合同) 1月 山形 ※システムの定量的性能評価(OS研合同) 3月 北海道(HPC研合同) ※ハイパフォーマンスコンピューティングとアーキテクチャ
システムソフトウェアとオペレーティング・システム	1月 山形 ※システムの定量的性能評価(ARC研合同) 3月22日(火) 工学院大
コンピュータビジョン	11月11日(木) 北陸先端大 ◎1月20日(木)・21日(金) 阪大 3月17日(木)・18日(金) 工学院大(AL研合同)
設計自動化	◎10月28日(木)・29日(金) 山口 ※デザインとテスト ◎12月16日(木)・17日(金) 豊橋技科大 ※アーキテクチャ設計, 機能論理設計(ARC研合同) 2月4日(金) 情報処理学会(新宿)
マルチメディア通信と分散処理	1月28日(金) NTT(横須賀)(GW研合同) 3月4日(金) 工学院大
ヒューマンインタフェース	11月11日(木) NEC(大阪) 1月13日(木) 東芝(川崎) 3月10日(木)・11日(金) 九工大/中京大 ※エコロジカル・インタフェース(パネル討論)
グラフィクスとCAD	10月22日(金) 岩手大 ◎12月16日(木)・17日(金) 九大 2月18日(金) 工学院大
ハイパフォーマンスコンピューティング	10月14日(木) 中大(理工) ※コンピュータシステムの評価 一理論と実践一 3月 北海道(ARC研合同) ※ハイパフォーマンスコンピューティングとアーキテクチャ
情報システム	10月19日(火) 工学院大 1月18日(火) 工学院大 3月15日(火) 東京 ※若手の会
プログラミング—言語・基礎・実践—	10月29日(金) 工学院大 ※意味論の理論と実践(小特集) 1月20日(木)・21日(金) 鹿児島大(SE研合同) ◎3月10日(木)・11日(金) 東京 ※並列・分散
情報学基礎	11月9日(火) 工学院大 ※情報基盤の整備と利用技術
コンピュータと教育	11月26日(金) 工学院大 ※遠隔教育とネットワーク技術 1月21日(金) 工学院大
アルゴリズム	10月1日(金) 新潟大 11月25日(木)・26日(金) 大阪電通大 1月25日(火) 日立(中研) 3月17日(木)・18日(金) 工学院大(CV研合同)

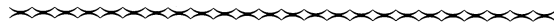
(研究会名)

(開催日・会場他)

人文科学とコンピュータ	11月26日(金) 岡山大 1月28日(金) 鹿児島
情報メディア	10月28日(木)・29日(金) 三重大 ※メディアとグループウェア (GW 研合同) 1月14日(金) 東京 3月11日(金) 工学院大
*音楽情報科学	10月上旬 早大 12月中旬 東京 2月 東京
*オーディオビジュアル 複合情報処理	12月8日(水) 早大 3月18日(金) 地方
*グループウェア	10月28日(木)・29日(金) 三重大 ※メディアとグループウェア (IM 研合同) 1月28日(金) NTT (横須賀) (DPS 研合同)

注) *：新設，※特集：テーマ，◎：他学会との共催 (平成5年7月15日現在)

各研究会に発表申込希望者は開催日の3カ月前までに研究会発表申込書(本欄添付)を事務局研究会係までご送付ください。



*** 「研究グループ」 について ***

確立された分野を対象とした研究会とは別に、ある特定分野の研究開発を短期間集中的に行うとか、新しい研究分野となり得る苗床的研究など、より自由で機動性に富んだ研究活動を促進するために研究グループ制度があります。
(活動期間：原則として2年、活動援助金：10万円/年)

この制度は、会員の方々の研究活動にお役立ていただけるものとして手軽に設立することができ、現在6つの研究グループが活動をしております。

- | | |
|-----------------------|------------------------------------|
| 1. システムインタフェース検証 | (主査：斎藤信男，幹事：竹中市郎，中尾成克，中原 康) |
| 2. テクニカルコミュニケーション | (// : 山田尚勇， // : 牛島和夫，空閑茂起，福島敏高) |
| 3. 音声言語情報処理と音声入出力装置 | (// : 中川聖一， // : 岡田美智男，小林 豊，新田恒雄) |
| 4. 自然言語資源の共有化 | (// : 松本裕治， // : 佐野 洋，田中裕一，徳永健伸) |
| 5. マルチメディア情報システムの産業応用 | (// : 沢 恒雄， // : 池田 宏，政井 寛，南 俊守) |
| 6. ドメイン分析/モデリング | (// : 伊藤 潔， // : 伊藤光恭，杵嶋修三，佐伯元司) |

なお、設立等の詳細につきましては事務局研究会担当までお問合せください。

会
告

— 研究会参加・発表申込方法・研究報告について —

●研究会参加

研究会には自由に参加できます。開催に関する詳細は開催月前月の本欄に掲載いたします。
(長期予告は2, 8月号に掲載いたします。)

●研究発表会当日参加について

登録会員の当該登録研究会参加 無 料

登録会員以外で研究発表会に参加の場合には

- 会員 当日の資料代 (1,000円～2,500円 * ページ数により4段階)
- 学生会員 500円
- 非会員 1,000円+当日の資料代

* 年間をとおして参加の場合には登録をお願いします。

●発表申込方法

会員は任意の研究会に次の方法で研究会発表の申込みをすることができます。希望者は所定の研究会発表申込書(学会誌2, 8月号本欄に掲載)により、発表希望日の3カ月前までに事務局研究会係にお申し込みください。なお、申込締切日は都合により若干繰り上がることがあります。

原稿執筆についての詳細は発表が決定(開催月の2カ月前の中旬)しましたらお知らせします。

●研究会登録申込

研究報告(研究発表会資料)を年間をとおして入手希望の場合には登録をお願いします。登録者には、研究会開催のつど研究報告を後日郵送いたします。各研究会登録費につきましては、2, 4月号本欄掲載の研究会登録申込用紙(新規)をご参照願います。

学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして「研究会準登録者」制度を設けております。詳細につきましては、事務局研究会係までお問い合わせください。

●研究報告残部購入申込

発表年月(資料番号)、研究会名、希望部数、申込者氏名、送付先、電話番号、郵便番号および支払方法を明記し書面にて事務局研究会係までお申し込みください。その際には、あらかじめ電話等で残部の確認をお願いします。(当年度、前年度残部のみ頒布可。送料1冊につき250円。)

残部資料のないもののコピーサービスに関しましては日本科学技術情報センター(JICST)へお問い合わせください(有料)。なお、国立国会図書館においても閲覧、コピーすることができます。

* 国立国会図書館 100 東京都千代田区永田町1-10-1 Tel.(03)3581-2331

* 日本科学技術情報センター(JICST) 100 東京都千代田区永田町2-5-2 Tel.(03)3581-6411

●研究報告の閲覧

閲覧希望者は、あらかじめ電話等でその旨を研究会係までお申し出のうえお越しくください。

自然言語処理研究会小規模国際会議
論文募集および参加案内

自然言語処理環太平洋シンポジウム '93
Natural Language Processing Pacific Rim Symposium '93

情報処理学会自然言語処理研究会では、1991年11月にシンガポールに於いて「自然言語処理環太平洋シンポジウム '91」を開催し、11ヶ国から52件の研究発表を行いました。その後も研究・開発は活発に進められており、多くの進展が見られます。そこで、再び環太平洋を中心として全世界の研究者・技術者が一堂に会し、最新の研究・技術に関する研究発表と討論を行うことを目的として、学術的小規模国際会議「自然言語処理環太平洋シンポジウム '93」を下記要領にて開催することとしました。皆様の積極的なご応募、ご参加を期待致します。

日 程：1993年12月6日(月)～7日(火)
場 所：福岡工業大学 (Tel.(092)606-3131 ext.296)
811-02 福岡市東区和白東3-30-1 (JR 鹿児島本線 筑前新宮駅下車、徒歩5分)
主 催：情報処理学会 自然言語処理研究会
共 催：福岡工業大学

論文募集要項

論文内容：計算言語学理論、テキストコーパス、辞書、タームバンク、形態素、構文、意味、文脈、談話、対話、解析、理解、生成、評価基準、機械翻訳、応用システム、その他

日 程：査読用アブストラクト締切 1993年9月30日(木) 必着
採否通知 1993年10月20日(水)
カメラレディ原稿締切 1993年11月15日(月) 必着

使用言語：英語

記述形式：査読用アブストラクト (3部送付のこと)

A4版用紙8ページ以内。構成は、題名、著者名、住所、電話番号、Fax番号、E-mailアドレス、数行の概要、数個以下のキーワード、本文の順とする。

カメラレディ原稿

A4版用紙。印字領域は170×240mm(マージンは上部左右共に20mmを厳守)。活字の大きさは10ポイント。論文長は10ページ以内(論文長が10ページを越えるときには事前に了承を得ること)。構成は、題名、著者名、住所、E-mailアドレス、数行の概要、数個以下のキーワード、本文の順。題名からキーワードまでは1段組、本文は2段組とする。

参加登録

参加費：一般10,000円 学生5,000円 (論文集1冊を含む。参加取消の場合でも返却致しません。)
参加申込：添付の参加登録用紙に記入し、参加費(現金)をそえて郵送する。(締切：1993年11月20日)

郵送・連絡先

820 飯塚市大字川津680-4 九州工業大学情報工学部 (NLPRS) 野村浩郷
Tel.(0948)29-7613 Fax.(0948)29-7601 E-mail: nomura@ai.kyutech.ac.jp

参加登録用紙

自然言語処理自然言語処理環太平洋シンポジウム '93

氏名 _____ (氏名の英語表記) _____

所属 _____

住所 _____

Tel _____ Fax _____ E-mail _____

参加登録費 一般 10,000円 学生 5,000円 (いずれかに○)
(支払は現金のみ)

参加登録費の領収書の宛名 _____

大学等における一般情報処理教育の在り方に関する調査研究報告書 頒布のお知らせ

本学会では、平成4年度文部省高等教育局から標記の調査研究の委嘱を受け、大学、高専、短大などにおける一般情報処理教育について、目次概要に示す調査研究報告書を提出しました。

目次

- 1. 概要
 - 2. 調査研究の目的
 - 3. 一般情報処理教育の教育理念
 - 4. 一般情報処理教育カリキュラム
 - 5. 一般情報処理教育の教育環境
- 付録 A. 講義例 B. 科目構成例 C. 教科書・参考書 D. 文献

本報告書を下記によりお分けいたします。

申込書（1枚1人使用のこと）を郵便、または Fax.にて申込先あてお送りください。

頒布価格 **2,500** 円（送料，消費税込）

申込・問合せ先 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 階
(社)情報処理学会 研究会係 Tel.(03)5322-3535 Fax.(03)5322-3534

..... 申 込 書

大学等における一般情報処理教育の在り方に関する調査研究報告書（一般）

申込者氏名 フリガナ _____ 会員番号 _____

連絡先所属 _____ Tel. _____ - _____ Fax. _____ - _____

送本先 _____ 希望部数 _____ 部

*住所 _____ 請求書 _____ 通

*所属 _____ 見積書 _____ 通

請求宛名 _____ 納品書 _____ 通

*氏名 _____ 殿
←送本用宛名ラベルに使用の為、楷書にてご記入ください

送金方法（該当欄に✓印願います） * 名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 (社)情報処理学会

- 現金書留 郵便振替（東京 5-83484） 持参
- 銀行振込（いずれも普通預金口座）
第一勧業銀行新宿西口支店 2049562 ・ 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

・ 振込銀行名 _____ ・ 送金人氏名 _____

・ 送金に関する問合せ先 担当者 _____ Tel. _____ - _____

会
告

第47回全国大会（平成5年後期）概要について

- 開催期日** 平成5年10月6日（水）～8日（金）
- 会場** 鳥取大学工学部，教養部
- 参加費** 電子情報通信・電気・照明・テレビジョン各学会会員は本会会員扱いとします。（賛助会員は正会員に準じます。）
会員 1,000円 非会員 2,000円 学生 無料
- 論文集・参加予約** 8月27日（金）締切り
分冊 予約価各4,000円（定価各6,000円）
セット（6分冊一揃，講演者索引・カバー付）予約価24,000円（定価36,000円）
- プログラム** プログラムの詳細は9月号に掲載されます。
- 招待講演1** (10月6日 14:40～16:10)
脳が食べる 一脳のエネルギー代謝をめぐる諸問題— 中川 八郎（阪大・蛋白質研究所）
- 招待講演2** (10月6日 16:20～17:50)
リアルワールドコンピューティング 岡 嶺一（RWC研究所）
- パネル討論** (10月7日 12:30～14:45)
ダウンサイジングの実像 (司会) 藤野 喜一（電通大）
- 一般セッション** (論文発表申込1,006件)
- 懇親会** 10月6日（水）18:20～（ホテルニューオータニ鳥取）
会費4,000円（定員150名）
- 宿泊・交通案内** 下記業者宛に申込みください。
- 日本交通公社 団体旅行新宿支店 営業第三課 担当：佐藤・矢澤
160 新宿区西新宿1-18-8（新宿スカイビル4F） Tel. (03) 3346-0161 Fax. (03) 3346-8248
- 日の丸観光トラベル 本社営業所 担当：松田
680 鳥取市永楽温泉町109 Tel. (0857) 22-4004 Fax. (0857) 22-0527
- JR東日本 新宿営業支店 全国大会係 担当：市村・武井・島田・岸
151 渋谷区代々木2-2-6 Tel. (03) 3320-3069 Fax. (03) 3320-3092

研究賞・奨励賞の表彰 平成5年度研究賞（7回）および第46回全国大会奨励賞受賞者の表彰を本大会時に行います。

第48回全国大会（平成6年前期）の開催について

平成6年春の第48回全国大会は下記により開催される予定です。大会実施要領は9月号本欄に掲載されますので、ご留意ください。

- 期日** 平成6年3月23日（水）～25日（金）
- 場所** 東京理科大学理工学部（野田市山崎）

全国大会論文集継続購入申込書

平成 年 月 日

下記のとおり、第 回より、全国大会論文集を継続購入で申し込みます。

- 1. 代金は、郵便振替、銀行振込（該当印）で支払います。
（到着後1ヶ月以内にお支払いください。校費払いなどはお申し出ください）

セット	合計金額	円（1セット24,000円）
郵便振替口座 東京 5-83484	（必要な郵便振替用紙を送付します）	
全国大会専用銀行口座「三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774」		

- 2. 請求書 通、納品書 通、見積書 通が必要です。

請求書宛名
（指定用紙があればお送りください）
通信欄

- 3. 担当者名

Tel. () - (ext.)

（担当者が交代した場合必ずご連絡ください）

- 4. 連絡先 (社)情報処理学会 全国大会係
160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F
Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

（楷書でハッキリ記入してください）

（送本先）

住 所

機関・部課名

氏 名 _____ 殿 (_____)

会員番号(非会員の方は空欄で結構です)

Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____

会
告

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム」論文募集 ——マルチメディアデータベースシステム技術の現状と将来——

データベースシステム技術は情報処理システムの中核技術として近年その進歩は著しく、データベースはデータの単なる格納庫から脱却し、企業の様々な生産活動を直接支援するかけがえのない機能を果たすべく期待されている。特にデータベースのマルチメディア化への期待は大きく、データベースシステムは、従来の文字・数値データに加えてテキスト、図形、静止画像、動画像、音など、様々なデータを統合・一元管理できることを要求されている。しかしながら、現在そのためのマルチメディアデータベースシステム技術は確立されていない。そこで本シンポジウムでは、最近のマルチメディア・ハイパーメディアデータベースとその関連技術の現状を特集し、その将来を展望してみたい。本テーマに関係したトピックの論文投稿を多数お待ちしております。

日 時 平成5年12月2日(木)、3日(金)
場 所 工学院大学3階312教室(新宿区西新宿)

論文募集要領

1. トピック：特に上記主題に関するトピック、およびアドバンスト・データベースシステムの構築・管理・運用全般に関するトピック。
2. 応募論文は邦文または英文とし、応募時に Extended Abstract (図表・参考文献を含む) を提出する。論文長は、ワープロA4判で4~8ページ程度(邦文6000字、英文1600語が目安)とする。
3. 応募論文(Extended Abstract)は情報処理学会データベースシステム研究会が査読し採否を決定する。採録された場合、最終論文は論文長刷り上がり10ページ(邦文約19000字、英文約5000語)を上限とし、会議録に収録されるとともに、シンポジウムで口頭発表する。
4. 応募論文(Extended Abstract)は、そのコピー3部を下記に郵送あるいは持参する。
(社)情報処理学会 アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム係
160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27階
Tel. (03) 5322-3535 Fax. (03) 5322-3534
5. スケジュール
論文(Extended Abstract) 応募締切 平成5年9月6日(月) 必着
採否通知 平成5年9月29日(水) までに通知
カメラレディ最終論文提出締切 平成5年11月1日(月) 必着
6. 問合せ先
 - ・増永良文(図書館情報大)
Tel. (0298) 52-0511 Fax. (0298) 52-4326
E-mail: masunaga@ulis. ac. jp
 - ・鶴岡邦敏(NEC)
Tel. (044) 856-2133 Fax. (044) 856-2233
E-mail: tsuruoka@btl. cl. nec. co. jp

本シンポジウムでは応募論文の発表のほかに、基調講演、招待講演、サーベイセッションなどを予定しています。また、シンポジウム開催日前日の12月1日(水)には、同じ場所で講習会も予定しています。シンポジウムと講習会のプログラムや参加申込みなどにつきましては、今後本欄にてお知らせいたします。

「1994年情報学シンポジウム」論文募集

——マルチメディアと情報システム——

目 的 科学におけるデータ・情報の円滑な流通と高度利用を促進するため、データ・情報・知識に関する基本的問題とその整備・利用に関するアイデア・理論・経験を、研究者・開発者・利用者が共有し、交流をはかる。本シンポジウムは1984年以来毎年開催されている。

トピックス 情報システムで扱われる表現メディアは、ビット列、英数字、漢字、そして、最近ではマルチメディアと、多様化及び高度化が進みつつある。それにともない情報システムの対象分野も飛躍的に拡大しつつある。そこで、今回のシンポジウムでは、マルチメディアに焦点をあてた次の分野（限定しない）を取り上げて討議する。なお、発表論文の構成に当たっては、例えば、マルチメディアと情報システムの理論的基盤・利用者・組織的環境・社会的環境・社会に与える影響などの視点が取り込まれることが望ましい（但し、必須条件ではない）。

- (1) 基礎理論、要素技術:情報構造解析, モデリング, 意味表現, 類似性処理, 学習機能, 自己組織化, 情報資源化, ほか
- (2) 情報システム技術
 - (a) 基本システム:OS, ネットワーク, DBMS, 言語, アーキテクチャ, ウィンドウシステム, ほか
 - (b) 処理技術:圧縮・伸張, 拡大・縮小, 認識, 検索技術, 入出力技術, ほか
 - (c) 応用システム:地図情報システム, 文書管理システム, 医用画像システム, 情報家電, CAI, 仮想現実, プレゼンテーションシステム, アミューズメントシステム, 景観シミュレーション, ほか
- (3) 利用者インタフェース, 情報システム構築・運用・利用技術
- (4) 情報システムの新分野, 情報システムの要件
- (5) 標準化動向

共同主催 (予定) 日本学術会議 情報学研究連絡委員会
 学術文献情報研究連絡委員会
 学術データ情報研究連絡委員会
 情報工学研究連絡委員会

情報処理学会, 人工知能学会, 日本医学会, 日本化学会, 日本数学会, 日本地理学会, 日本物理学会, 情報知識学会, 日本生物物理学会

後 援 (予定) 学術情報センター, 計測自動制御学会, 国際電信電話㈱, 情報科学技術協会, 情報通信学会, 電子情報通信学会, 日本医療情報学会, 日本科学技術情報センター, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本原子力学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本生化学学会, 日本電信電話㈱, 日本動物学会, 日本農学会, 日本分子生物学会, 日本分析化学会, 日本薬学会, 化学情報協会, ICOT

日 時 1994年1月18日(火)～19日(水) 9:30～17:00

場 所 日本学術会議講堂 106 港区六本木 7-22-34 (地下鉄千代田線, 乃木坂駅)

講演申込方法 ワープロ使用でA4用紙4～10枚の論文と題目, 氏名, 連絡先, 職名を記入した別紙を添えて下記に申し込む。

講演申込締切 1993年9月18日(土)

採否通知 実行委員会が審査し, 採否は1993年10月1日までに発送する。

最終原稿締切 1993年11月30日(火)

参加申込 氏名, 連絡先, 職業, 資料必要の有無をはがきに記入し, 12月20日までに下記に申し込む(当日受付もあるが, 資料の不足の際は事前登録者を優先する)。

参加費 (資料代として) 予定 共催学協会員 7,000円, 学生 2,000円, 一般 10,000円

電 先 (社) 情報処理学会 情報学シンポジウム係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 階

Tel. (03) 5322-3535 Fax. (03) 5322-3534

「グラフィクスと CAD」シンポジウム開催について

——コンピュータグラフィクスの新たな展開——

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募いただき誠にありがとうございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催することになりました。多数の方々のご参加をお願いいたします。

- 日 時** 平成 5 年 9 月 21 日 (火) 午前 9 時～午後 5 時 50 分 (午後 6 時より懇親会)
9 月 22 日 (水) 午前 9 時～午後 5 時 20 分
- 場 所** 工学院大学 3 階 312 教室 (JR 新宿駅西口から地下通路京王プラザ方面徒歩約 4 分,
新宿区西新宿 1-24-2, Tel. (03) 3342-1211)
- 主 催** 情報処理学会 グラフィクスと CAD 研究会
- 参 加 費** 正会員 15,000 円, 非会員 25,000 円, 学生会員 5,000 円 (いずれも論文集を含む)
懇親会参加費 3,000 円, 論文集のみ 5,000 円 (送料込)
- 申込締切** 平成 5 年 9 月 10 日 (金) (定員 180 名になり次第締め切らせていただきます。論文集のみの方は、印刷部
数に限りがありますので、なるべく早めにお申込みください。)
- 申 込 先** 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F
(社)情報処理学会「グラフィクスと CAD」シンポジウム係 Tel. (03)5322-3535, Fax. (03)5322-3534

プ ロ グ ラ ム

第 1 日 9 月 21 日 (火) (9:00~17:50)

開 会 (9:00~9:10) 司会 大野 義夫 (慶大)

挨拶 西原 清一 (筑波大)

セッション 1 ハイビジョン (9:10~10:10) 座長 間瀬 健二 (NTT)

・高画質レンダリング環境 (RS) の考案

中 俊弥, 望月 義幸, 中瀬 義盛, 西澤 貞次 (松下電器)

・D/R マッピング法による 2 次元画像の 3 次元加工 笹間 宏, 菊地 誠 (高度映像技術研究所)

——休 憩 (10:10~10:20) ——

セッション 2 グラフィクスパラダイム (10:20~11:20) 座長 藤代 一成 (お茶の水女子大)

・幾何演算処理の新しいパラダイム 山口富士夫, 新関 雅俊 (早大)

・オブジェクト指向グラフィックス 島山 正行, 上原 均, 新谷 学 (茨城大)

——休 憩 (11:20~11:30) ——

招待講演 (11:30~12:30) 司会 大野 義夫 (慶大)

「エンタテインメント産業における CG アニメーションの現状」 金子 満 (エムケイ)

——昼休み (12:30~13:30) ——

セッション 3 形状処理 1 (13:30~15:00) 座長 二上 範之 (シャープ)

・許容誤差範囲の総合的な評価に基づく安定な多角形処理手法の提案

乾 正知 (茨城大), 吉光 範雄, 木村 文彦 (東大)

・体積ゼロ 4 面体を用いた 3 次元形状モデリング 荒川 佳樹 (通信総合研究所)

・反射線の幾何学的特徴量に基づく自由曲面の自動修正法

山口 泰 (電機大), 加藤 都夫 (日産自動車), 木村 文彦 (東大)

——休 憩 (15:00~15:10) ——

セッション 4 感性の表現 (15:10~16:10) 座長 安生 健一 (日立)

・筋肉エディタ: 表現設計のための支援ツール

内藤 剛人 (慶大), 竹内 彰一 (ソニーコンピュータサイエンス研究所), 所真理雄 (慶大)

〔特別講演〕「白鳥の湖」制作プロセスと美しさの表現 吉本 聖志 (NEC)

——休 憩 (16:10~16:20) ——

セッション 5 フォトリアリズム (16:20~17:50) 座長 安田 孝美 (名大)

・天空光の透過光を考慮した陰影表示

土橋 宣典, 金田 和文, 山下 英生 (広島大), 西田 友是 (福山大), 多々村克己 (広島県立大)

- ・ラジオシティの並列化手法
大谷 尚毅, 米田 泰司, 日高 教行, 浅原 重夫, 鷺島 敬之 (松下電器)
- ・水流のビジュアルシミュレーションのための粒子による手法
三中西信治 (岩手大), 横山健一郎 (松下電器)
村岡 一信 (盛岡短大), 千葉 則茂 (岩手大), 斎藤 伸目 (東北工大)

第2日 9月22日(水) (9:00~17:20)

セッション6 形状処理2 (9:00~10:30)

座長 齊藤 剛 (電機大)

- ・CG画像における輪郭エッジの検出と表示法
金間 誠一 (日立)
- ・ベクトル化地図中の閉領域抽出の一アルゴリズム
焦 国芳, 中前栄八郎 (広島県立大), 犬山 博之 (三英技研)
- ・NC加工における部品の形状配置問題に関する研究
田中 功二, 金井 秀明, 若林 伸和 (電通大)
——休憩 (10:30~10:40) ——

セッション7 CAD (10:40~12:10)

座長 小堀 研一 (大阪工大)

- ・解析モデルに基づいたユーザフレンドリな半導体プロセスのCADツール
富田 昌明 (新電元工業), 黒田 司 (阪大)
- ・コンピュータグラフィックスを利用したガラス製品デザインシステム
西尾 吉男, 横井 茂樹 (名大), 林 敏夫 (石塚硝子)
- ・固体音伝搬解析におけるプレ・ポスト処理
谷野 郁子, 堀越 清視, 安藤 啓 (鹿島技術研究所)

記念講演 (12:10~12:40)

司会 福井 一夫 (NHK)

- 「自動車のカラーデザインシステムの開発」
大島 哲也 (トヨタ自動車)
——昼休み (12:40~13:40) ——

パネル討論 (13:40~15:40)

コーディネータ 笹田 剛史 (阪大)

「建築・都市のCADと景観シミュレーション」

パネリスト: 浜嶋鉦一郎 (大林組), 吉田 一郎 (竹中工務店), 西本 和彦 (鹿島建設)

木田 邦夫 (大成建設), 岡田 睦夫 (清水建設)

——休憩 (15:40~15:50) ——

セッション8 アニメーション動力学 (15:50~17:20)

座長 三好 和憲 (工学院大)

- ・動力的アニメーションのための運動特徴モデリング
寺沢 幹雄, 木村 文彦 (東大)
- ・人物像の歩行動作生成手法
筒口 拳, 渡部保日児 (NTT)
- ・オブジェクト指向アニメーション生成実験システム
溝口 正俊, 箕浦 光春 (高度映像技術研究所)

会
告

「グラフィクスとCAD シンポジウム」

参加申込書

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○で囲む)

正会員 15,000円 非会員 25,000円 学生会員 5,000円

*参加費には論文集代が含まれています。

○懇親会参加費 3,000円

○論文集のみ (5,000円, 送料込) _____冊

○送金方法 (該当するものを○で囲む)

合計 _____円を

- a) 当日, 会場受付にて支払います。
- b) 現金書留で
- c) 銀行振込 (いずれも普通預金口座) で _____月 _____日送金します。

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 _____様

*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (Fax も可)

情報処理学会 シンポジウム係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. (03)5322-3535, Fax. (03)5322-3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者

連絡先 〒 _____

機関・

部課名 _____

フリガナ
氏名 _____

会員番号

殿 (_____)

Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____

「コンピュータシステム・シンポジウム」開催について

——分散／超並列システムソフトウェア，コンティニューアスメディア， マルチメディアシステム・ソフトウェア——

コンピュータの高性能化，ネットワークの発達，並列・分散処理システムの普及，コンピュータ利用形態の多様化，マルチメディア技術の発展などにより，システムソフトウェア，オペレーティングシステムに新しい技術が求められるようになってきています。

システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会では，過去4回，標記シンポジウムを開催し，多数の参加を仰ぎ，大きな成果を得てまいりました。本シンポジウムでは，システムソフトウェアおよびOSの研究・開発に携わる人，利用する人が一堂に会して，幅広い議論を行なうことを目的に，下記の要領でシンポジウムを開催致します。特に，特集として，(1) 分散／超並列システムのシステムソフトウェア，(2) コンティニューアスメディアを対象としたシステムソフトウェアに関する最近の研究動向，実用化動向について，研究発表，チュートリアル，パネル討論を行い，これらの分野の今後の進展について展望いたします。これらの分野に関心をもつ研究者，設計開発者，利用者の方々の幅広いご参加をお待ちしております。

期 日 平成5年10月20日(水)～21日(木)
場 所 工学院大学3階312教室(新宿区西新宿1-24-2)
主 催 情報処理学会システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会
参 加 費 OS研究会会員16,000円，会員17,000円，非会員25,000円，学生5,000円(いずれも論文集を含む)
 論文集のみ5,000円(送料込)
申込締切 平成5年10月1日(金)
申 込 先 160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F
 (株)情報処理学会「コンピュータシステム・シンポジウム」係
 Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

プログラムの詳細については，次号に掲載いたします。

プログラム(予定)

- トピックス：特集：(1) 分散／超並列システムのシステムソフトウェア
 (2) コンティニューアスメディアを対象としたシステムソフトウェア
- パネル討論：分散マルチメディアシステムの今後
 コーディネータ：鈴木 則久(日本IBM)
- チュートリアル(予定)：(1) 高速コミュニケーションの動向
 (2) データフロー計算機作成の実際とその評価
 (3) 未定
- 研究発表：(1) 分散オペレーティングシステム
 (2) 並列処理オペレーティングシステム
 (3) コンティニューアスメディア・マルチメディアシステム
 (4) プロセスの実現方式

の分野に関する研究発表を予定しております。

「コンピュータシステム・シンポジウム」

参加申込書

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○で囲む)

OS 研究会会員 16,000 円 正会員 17,000 円 非会員 25,000 円 学生 5,000 円

*参加費には論文集代が含まれています。

○論文集のみ (5,000 円, 送料込) _____ 冊

○送金方法 (該当するものを○で囲む)

合計 _____ 円を

a) 当日, 会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。

c) 銀行振込 (いずれも普通預金口座) で

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 _____ 様

*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (Fax も可)

情報処理学会 シンポジウム係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F

Tel. (03)5322-3535, Fax. (03)5322-3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先〒 _____

機関・
部課名 _____

フリガナ _____ 殿 (_____ 会員番号)
氏 名 _____

Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____

情報システム研究会

Gordon B. Davis 博士 特別講演会のお知らせ

9月上旬、東京で開催される IFIP の GA に出席のため、現 TC8 (Information Systems) 委員長である、Davis 博士が来日されます。この機会に、情報システム研究会では、博士の特別講演会を企画いたしました。研究会のメンバーのみならず、多数の方々のご参加をお待ちいたしております。

日 時：平成5年9月10日（金）10：00～12：30
 場 所：工学院大学3階312教室（新宿区西新宿）
 寅 題：情報化時代における情報技術の生産的利用
 *通訳（要約）あり
 主 催：情報処理学会 情報システム研究会
 後 援：経営情報学会
 参加費：無料
 定 員：250名
 申込締切：平成5年8月31日（火）
 申 込 先：情報処理学会 講演会係
 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F
 Tel. (03)5322-3535, Fax. (03)5322-3534

----- (切り取らないでください) -----

申込者
 連絡先

機関・
 部課名

フリガナ 氏 名 _____ 会員番号 _____
 殿 ()

Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____

IS 研究会登録 有・無

*楷書でハッキリ記入してください

「連続セミナー93」参加申込/議事録バックナンバ申込書

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。(申込書は1人1枚としてください)

- ◎参加費(4回分) 該当するものを○で囲む
 正会員、賛助会員 60,000円 非会員 80,000円 学生会員 10,000円
 参加費(1回分)
 正会員、賛助会員 18,000円 非会員 25,000円 学生会員 2,500円

第 1 回連続セミナーに参加します。
 ☆参加費には資料代が含まれています。

- ◎議事録のみ(1回分)
 91年度 会員 20,000円(1冊) 非会員 25,000円(1冊)

- 第1回 パーソナルコンピュータとワークステーションの90年代の課題 冊
- 第2回 パーソナルコンピュータとワークステーションのマルチメディア化 冊
- 第3回 CISC対RISC CPUのこれから 冊
- 第4回 DOSとUNIXとソフトウェアツールのこれから 冊
- 第5回 インターパーソナル・コンピューティングのこれから 冊
- 第6回 2001年のパーソナルマシン 冊

- 92年度 会員 25,000円(1冊) 非会員 30,000円(1冊)

- 第1回 ダウンサイジングとオープン化の課題 冊
- 第2回 マルチメディアコンピューティングの課題 冊
- 第3回 パソコンの new 入力方式のインパクト 冊
- 第4回 オブジェクト指向アプリケーションをとりまく環境 冊
- 第5回 分散コンピューティングの進展 冊
- 第6回 硬軟技術限界予測 冊

- 93年度 資料代 5,000円(1冊)

- 第1回 CASEの問題点と今後の方向 冊
- 第2回 社会と文化とグループウェア 冊

◎送金方法

- ☆合計 _____ 円を
- a) 当日、会場受付にて支払います
 - b) 銀行振込(いずれも普通預金口座)で
 第一勧業銀行新宿西口支店 2049562
 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608
 名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会
- 送金取扱銀行 _____ 銀行 _____ 支店
 送金人名義 _____
- * 請求書類の必要な方はお申し出ください。
 請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
 請求先 _____
- * 分割でのお支払いも可能です。
 分割希望回数 _____ 回
 送金予定 _____

申込先・送金先 情報処理学会連続セミナー係 (Fax. 可)
 〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F
 Tel. (03) 5322-3535 Fax. (03) 5322-3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者 連絡先 _____ 丁

機関・部課名 _____

刀封 氏名 _____ 殿 (会員番号 _____)

Tel. _____ (ex. _____) Fax. _____

コンピュータ音楽国際会議 (ICMC) 1993 開催のご案内

共催: 国際コンピュータ音楽協会 (ICMA), 早稲田大学
 日程: 1993年9月10日(金)~15日(水)
 場所: 早稲田大学 学術情報センタ 国際会議場 (東京都新宿区西早稲田 1-20-14)
 尚美学園 バリオホール (東京都文京区本郷 1-28-4)



コンピュータ音楽国際会議(International Computer Music Conference)は、計算機と音楽に関する国際会議であり、過去 18 回、米国と欧州で毎年交互に開かれて来ました。ICMC 1993 は、会議テーマ *Opening a New Horizon* のもと、アジア・太平洋地域では始めて、早稲田大学(東京)を主会場として開催されます。会議には、招待講演、コンサート、論文セッション、デモンストレーション、パネル、チュートリアル、展示会等が企画されています。音楽、音響、マルチメディア、仮想現実等に興味を持つ多くの方々のご参加をお待ちしております。

■ プログラム ■

9月10日(金)	
9:30 ~ 12:30	チュートリアル 1 IRCAM 信号処理ワークステーションのための MAX プログラミング Organizer: Cort Lippe (IRCAM), 葉 孝之 (国立音楽大学), Zack Settel (IRCAM)
14:00 ~ 17:00	チュートリアル 2 楽音信号処理・作曲用語 Nyquist Organizer: Roger Dannenberg (CMU) チュートリアル 3 コンピュータ音楽のための Lisp プログラミング Organizer: Peter Desain (NICL, オランダ), Henkjan Honing (アムステルダム大学)
18:00 ~ 20:00	コンサートセッション 1 (井深ホール)
9月11日(土)	
9:00 ~ 10:20	論文セッション 1 1A:インタラクティブ演奏 1 1B:音楽認知 1
10:30 ~ 12:00	論文セッション 2 2A:音の分析/合成 1 2B:スタジオレポート 1
13:30 ~ 14:45	開会式及び歓迎コンサート (井深ホール)
15:00 ~ 16:00	基調講演 (J. Chowning) (井深ホール) †
19:30 ~ 21:00	コンサートセッション 2 (バリオホール) 引き続き レセプション
9月12日(日)	
9:00 ~ 10:20	論文セッション 3 3A:ソフトウェア/システム 1 3B:作曲
10:30 ~ 12:00	論文セッション 4 4A:インタラクティブ演奏 2 4B:スタジオレポート 2
13:00 ~ 15:00	コンサートセッション 3 (井深ホール)
15:15 ~ 16:15	特別講演 (湯浅 譲二) (井深ホール) †
16:30 ~ 17:40	レクチャーコンサート (井深ホール) Coordinator: 志村 哲 (大阪芸術大学)
19:00 ~ 21:00	コンサートセッション 4 (バリオホール) 単純は複雑なり -- 日本の楽器と音楽の<テクニカルティエと美学>
9月13日(月)	
9:00 ~ 10:30	論文セッション 5 5A:物理モデル 1 5B:楽音認識
10:40 ~ 12:00	パネル討論会 (井深ホール) †
13:30 ~ 14:50	特別セッション (尚美学園) 座長: David Cope (UCSC) グラフィックコンピュータ音楽システム UPIC 入門 Staff: Gerard Pape, Didier Rocton (UPIC)
15:00 ~ 16:00	コンサートセッション 5 (バリオホール)
17:30 ~ 19:00	コンサートセッション 6 (バリオホール)
20:00 ~	パンケット (椿山荘)
9月14日(火)	
9:00 ~ 10:20	論文セッション 6 6A:ソフトウェア/システム 2 6B:音楽の表情付け
10:30 ~ 12:00	論文セッション 7 7A:音の分析/合成 2 7B:音楽認知 2
13:10 ~ 14:40	コンサートセッション 7 (井深ホール)
15:30 ~ 17:10	論文セッション 8 8A:物理モデル 2 8B:作曲関連 8C:スタジオレポート 3
18:30 ~ 20:00	コンサートセッション 8 (井深ホール)
9月15日(水) 10:00 ~ 11:00 ICMA 会員総会 (井深ホール)	

論文、パネルセッションは全て早稲田大学で行なわれます。上記の他、デモンストレーション、ポスターセッション、インスタレーションは論文セッションと同時並行して行われます。井深ホールは早稲田大学国際会議場内にあります。†のセッションは同時通訳つきです。本スケジュールは変更される場合があります。

■ 参加登録費 ■

参加費 (ICMA 会員)	38,000 円	チュートリアル (ICMA 会員)	7,000 円
参加費 (ICMA 非会員)	52,000 円	チュートリアル (ICMA 非会員)	9,000 円
参加費 (学生)	16,000 円	1日会議参加チケット†	10,000 円
パンケット	8,000 円	シングルコンサートチケット‡	3,000 円

参加費には、チュートリアルとパンケットを除く全ての会議イベント(論文セッション、コンサート等)と会議資料(ブローディング、CD等)の費用が含まれています。会議当日でも会場にて参加登録を受け付けております。† 1日会議参加チケットとシングルコンサートチケットは、当日参加登録のデスクにてのみ購入できます。

■ 事務局 ■ 事前の参加登録、ICMA 入会申し込み、その他お問い合わせは下記事務局へどうぞ:

〒162 新宿区馬場下町 9 c/o キャンパスコーポレーション ICMC 1993 事務局
 電話: 03-3202-7521 Fax: 03-3202-7523 電子メール: icmc93@waseda.ac.jp

ICMC 1993 実行運営組織: 大会委員長: 大照 完 (早稲田大学) 大会副委員長: 井口 征士 (大阪大学)
 論文委員長: 田口 友康 (甲南大学) 音楽委員長: 嶋津 武仁 (福島大学) 実行委員長: 平田 圭二 (NTT)
 事務局: 橋本 周司 (早稲田大学) 松島 俊明 (東邦大学) 平賀 譲 (図書館情報大学)

後援および協賛: 通商産業省 音楽情報科学研究会 尚美学園 イメージ情報科学研究所 情報処理学会
 日本現代音楽協会 日本作曲家協議会 計測自動制御学会 日本音響学会 電子情報通信学会
 システム制御情報学会 国際コミュニケーション基金 芸術文化振興基金助成事業

会 告

本会協賛等の行事案内*

<国内会議>

「EDA 標準化フォーラム'93」, 「EDA テクノフェア'93」

平成5年9月8日(水)～10日(金)

千葉・幕張メッセ

講習会「デジタル放送のすべて」

平成5年9月29日(水)～30日(木)

東京・工学院大学

第22回人工知能セミナー「実用スケジューリング技術の現状と展望」

平成5年9月30日(木)

東京・日本ユニシス

INTERMAC'93 SICE シンポジウム in 晴海

平成5年10月12日(火)～15日(金)

東京国際見本市会場

第12回技術発表会

平成5年10月21日(木)～22日(金)

東京・虎ノ門パストラル

第7回アジア情報技術標準化フォーラム

平成5年10月22日(金)

東京・センチュリー三田ビル

NICOGRAPH'93

平成5年11月15日(月)～19日(金)

サンシャインシティ・コンベンションセンター TOKYO 他

第5回画像入力シンポジウム

平成5年11月16日(火)

東京・工学院大学

セミナー「健康と環境ビジネスにおける先端センシング技術」

平成5年11月26日(金)

大阪・千里ライフサイエンスセンター

「工業教育」に関する学協会連合講演会

平成6年(未定)

東京(未定)

<国際会議>

INE'93「OSI 相互接続実験'93」

1993年10月4日(月)～7日(木)

東京国際見本市会場

第5回電気通信フロンティア研究国際フォーラム

1993年10月19日(火)～20日(水)

東京・ココヨホール

第15回計算言語学国際会議

1994年8月5日(金)～9日(火)

京都・都ホテル

7th ICPE—第7回生産技術に関する国際会議

4th ICHT—第4回先端技術国際会議

1994年9月15日(木)～17日(土)

千葉・幕張メッセ

*詳細は本号会議案内欄参照

本学会論文誌への投稿論文原稿の取り扱いに関する規約の改訂について

論文誌編集委員会

投稿論文原稿の取り扱いに齟齬をきたすような事態が生じ始めましたので、現在、本学会論文誌編集委員会では、「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内の「投稿原稿の取り扱い」規約の全面的な見直しをしていますが、終了するまでには、まだ、多少時間を要すると思われます。そこで、さしあたっての不都合を解消するために、「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内の「2.4 投稿原稿の取り扱い」の(3)を以下のように改訂しましたので、お知らせいたします。この改訂によって、投稿原稿の扱いは、1992年7月改訂以前と原則的に同じ扱いに戻ります。

2. 「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内（抜粋）

2.4 投稿原稿の取り扱い

(3) 本学会に採録される前に、下記の公開刊行物に掲載された論文は、既発表とみなし、原則として採録不可能なものとする。

(a) 学会誌, (b) 商業誌, (c) 各種機関誌, (d) 大学の紀要, (e) 査読をおこなう会議録

ただし、本論文誌に掲載されたショートノートをもとに発展、充実させたもの、および本学会の主催または共催する全国大会、研究発表会、シンポジウムで発表された内容は既発表とはみなさない。

(注) 下線部分を追加



支部だより

北陸支部 講演会

日 時 平成5年9月3日(金) 15:00~16:30
 場 所 富山大学工学部108講義室
 演 題 カー・ナビゲーションと音声対話インターフェース 佐藤 秀樹 (日本電装)
 参加費 無料 (参加資格は問いません)
 問合せ先 920 金沢市小立野2-40-20 金沢大学工学部電気・情報工学科内
 情報処理学会北陸支部事務局 Tel. (0762) 61-2101 (ext.332)
 または 930 富山市五福3190 富山大学工学部電子情報工学科 広瀬貞樹
 Tel. (0764) 41-1271 (ext.2707)

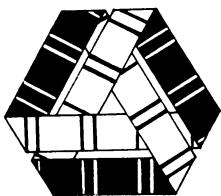
講演会

日 時 平成5年9月10日(金)16:50~18:20
 場 所 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科大講義室
 演 題 経験にもとづく学習 古川 康一 (慶大)
 参加費 無料 (参加資格は問いません)
 問合せ先 932-12 石川県能美郡辰口町旭台15 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 國藤 進
 Tel. (0761) 51-1220

講演会

日 時 平成5年9月21日(火)13:30~15:15
 場 所 金沢大学工学部秀峰会館
 演 題 学術情報ネットワークの現状と展望 飯田 記子 (学術情報センター)
 参加費 無料 (参加資格は問いません)
 問合せ先 920 金沢市小立野2-40-20 金沢大学総合情報処理センター Tel. (0762) 64-5900

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です (* : 本年既掲載分, ** : 昨年既掲載分)。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。(国内連絡先が記載されている場合は除く。)

1.開催日, 2.場所, 3.問合せ先, 4.その他

国際会議

ICMC1993—コンピュータ音楽国際会議 1993 (** 081)

1. 1993年9月10日(金)~15日(水)
2. 早稲田大学学術情報センター(東京都新宿区西早稲田)他
3. キャンパスコーポレーション気付 ICMC 1993 事務局
Tel. (03)3202-7521, Fax. (03)3202-7523
E-mail: icmc 93@waseda. ac. jp

4th European Software Engineering Conf. (** 087)

1. September 13-16, 1993
2. Garmisch, Germany
3. Uta Weber Institut Fur Informatik, Technische Universitat Munchen, Orleansstr. 34
Tel. +49-(0)89-48095142, Fax. +49-(0)89-48095160

APMS '93—Int'l. Conf. on Advances in Production Management Systems (037)

1. September 28-30, 1993
2. Athens, Greece
3. HMA 196, Sygrou Ave. & Harokopou Str. 17671 Athens, Greece
Tel. (01)937-3870-9, Fax. (01)937-3884

INE '93「OSI 相互接続実験 '93」(038)

1. 1993年10月4日(月)~7日(木)
2. 東京国際見本市会場(中央区晴海)
3. ㈱情報処理相互運用技術協会
Tel. (03)3358-2721, Fax. (03)3358-4753

Working Conf. on Diffusion, Transfer & Implementation of Information Technology (039)

1. October 11-13, 1993
2. Pennsylvania, U. S. A.
3. Priscilla fowler Software Engineering Institute, Carnegie Mellon Univ. 5000 Forbes Avenue, Pittsburgh,

PA 15213, U. S. A.

Tel. (412)268-7748, Fax. (412)268-5758

4. Paper Submissions due : May 14, 1993

IT WORKS '93—Creating Changes Through It (040)

1. October 12-13, 1993
2. Singapore
3. Ms Nancy Lee SCS Secretariat 71 Science Park Drive NCB Building, Singapore 0511
Tel. 776-0783, Fax. 778-8221
4. Synopsis of paper due : June 7, 1993

第5回電気通信フロンティア研究国際フォーラム (041)

1. 1993年10月19日(火)~20日(水)
2. コクヨホール(東京都港区港南)
3. ㈱テレコム先端技術研究支援センター
Tel. (03)3351-8152, Fax. (03)3351-1591
4. 参加費: 無料

Business Process Re-Engineering : Information System Opportunities and Challenges (042)

1. May 8-11, 1994
2. Australia
3. IFIP TC 8 Conference PO Box 135, Aspley Qld 4034, Australia
Tel. + (61)0(7)263 7864, Fax. + (61)0(7)263 7020
4. Paper Submission Date : September 15, 1993

IEA/AIE-94—The 7th Int'l. conf. on Industrial and Engineering Applications of Artificial Intelligence and Expert Systems (043)

1. May 31-June 3, 1994
2. Austin, Texas, U. S. A.
3. Dr. Frank Anger, Program Chair, IEA/AIE-94, Department of Computer Science, Univ. of West Florida, Pensacola, FL 32514, U. S. A.
Tel. (904)474-3022, Fax. (904)474-3129
4. Submission Deadline : November 5, 1993

6th Transputer/Occam Int'l. Conf. (044)

1. 1994年6月16日(木)~17日(金)
2. 東京都立大学(八王子)
3. 東京大学工学部電子情報工学科 石塚 満
Tel. (03)3812-2111 (ext. 6347), Fax. (03)3818-5706
E-mail. ishizuka@ miv. t. u-tokyo. ac.jp
4. 論文投稿締切: 1993年11月30日

WCCM 3—The 3rd World Congress on Computational Mechanics (045)

1. 1994年8月1日(月)~5日(金)
2. 幕張メッセ(千葉市)
3. 東京理科大学工学部電気工学科 川井 忠彦
Tel, Fax. (03)3260-8236
4. Abstract due : December 1, 1993

第15回計算言語学国際会議 (046)

1. 1994年8月5日~9日
2. 都ホテル(京都)
3. ㈱インターグループ内 第15回計算言語学国際会議事務局

Tel. (06)375-9477, Fax. (06)372-6127

- 論文締切: 1994年1月6日

Euro Graphics 1994 (047)

- September 12-16, 1994
- Oslo, Norway
- EG '94 Box 124 Blindern N-0314 Oslo Norway
Tel.+47 22 06 76 54, Fax.+47 22 06 73 50
- Deadline for papers: January 10, 1994

th ICPE—第7回生産技術に関する国際会議 (048)**th ICHT—第4回先端技術国際会議 (049)**

- 1994年9月15日(木)~17日(土)
- 幕張メッセ(千葉県美浜区中瀬)
- (株)精密工学会
Tel. (03)3362-1979, Fax. (03)3367-0994
- 参加費: 40,000円

RIS 94—Conf. in the Cris Series (050)

- September 26-28, 1994
- Maastricht, Netherlands
- Mrs. Mieke van Zutphen P. O. Box 616, 6200 MD
Maastricht, Netherlands
Tel.+31-43-883656, Fax.+31-43-258495
- Paper due: January 15, 1994

国内会議

ソフトウェアポータビリティセミナー

- 1993年8月24日(火)
- 品川区立総合区民会館(東京・東大井)
- (株)トロン協会 セミナー担当
Tel. (03)3454-3191, Fax. (03)3454-3224
- 参加費: 会員2,000円, 非会員5,000円

平成5年電気学会産業応用部門全国大会

- 平成5年8月25日(水)~27日(金)
- 東京電機大学工学部(千代田区神田錦町)
- (株)電気学会
Tel. (03)3201-0983, Fax. (03)3201-1983
- 参加費: 正員12,000円, 准員・学生6,000円, 会員外18,000円(予約登録)

EDA 標準化フォーラム '93」, 「EDA テクノフェア '93」

- 1993年9月8日(水)~10日(金)
- 幕張メッセ(千葉市)
- (株)日本電子機械工業会 技術部部品・デバイス技術課
Tel. (03)3213-1075, Fax. (03)5252-7671
- 参加費: 一般15,000円, 大学8,000円(1日)

青年技術士シンポジウム

- 平成5年9月10日(金)
- 中央大学駿河台記念館(東京都千代田区)
- (株)日本技術士会 Fax. (03)3591-5138
- 参加費: 4,000円(第1部, 2部), 6,000円(第3部)

第23回安全工学シンポジウム

- 1993年9月29日(水)~30日(木)
- 建築会館(東京都港区芝)
- (株)日本建築学会 研究事業課
Tel. (03)3456-2057, Fax. (03)3456-2058
- 参加費: 無料

第22回人工知能セミナー「実用スケジューリング技術の現状と展望」

- 1993年9月30日(木)
- 日本ユニシス(東京都港区赤坂)
- (株)人工知能学会事務局
Tel. (03)5261-3401, Fax. (03)5261-3402
- 参加費: 会員18,000円, 非会員30,000円, 学生6,000円

INTERMAC '93 SICE シンポジウム in 晴海

- 平成5年10月12日(火)~15日(金)
- 東京国際見本市会場(中央区晴海)
- (株)計測自動制御学会
Tel. (03)3814-4121, Fax. (03)3814-4699
- 参加費: 会員10,000円, 大学・公的機関・学生2,000円, 会員外16,000円

第43回科学講習会

- 平成5年10月18日(月)
- 有楽町朝日ホール(東京都千代田区)
- (財)東レ科学振興会
Tel. (0473)50-6104, Fax. (0473)50-6082
- 入場無料

第7回アジア情報技術標準化フォーラム

- 平成5年10月22日(金)
- センチュリー三田ビル(東京都港区)
- (財)国際情報化協力センター 普及部
Tel. (03)3457-0941

NICOGRAPH '93—ビジュアルリゼーション&インタラクティブテクノロジー

- 平成5年11月15日(月)~19日(金)
- サンシャインシティ・コンベンションセンター TOKYO(池袋)他
- (株)日本コンピュータ・グラフィックス協会
Tel. (03)3233-3475, Fax. (03)3233-3450

セミナー「健康と環境ビジネスにおける先端センシング技術」

- 平成5年11月26日(金)
- 千里ライフサイエンスセンター(大阪府豊中市)
- センシング技術応用研究会
Tel. (06)443-1121, Fax. (06)443-3137
- 参加費: 会員25,000円, 一般28,000円, 学生20,000円

「工学教育」に関する学協会連合講演会

- 平成6年(未定)
- 東京(未定)
- (株)日本工業教育協会
Tel. (03)3832-9040, Fax. (03)3832-9049

教官募集



○大学等情報関係教官募集

慶應義塾大学理工学部電気工学科

募集人員 専任講師または助手 1名
 専門分野 ヒューマンインタフェースに関連した計算機科学・情報工学分野
 応募資格 博士号取得者か着任時までに取得見込みの方 (33歳未満)
 着任時期 平成6年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (原著論文, 国際会議論文のみ), これまでの研究経過概要および今後の研究計画 (各1000字程度)
 応募締切 平成5年9月20日必着
 送付先 223 横浜市港北区日吉 3-14-1
 問合せ先 慶應義塾大学理工学部電気工学科主任 中島真人
 「応募書類在中」と朱書き書留。
 Tel. (045) 563-1141 (ext. 3342)
 Fax. (045) 563-2773

三重大学教育学部情報教育課程

募集人員 教授または助教授または講師 1名
 担当科目 計算機工学, 情報教育概論, 情報数理解析学のいずれかとそのほかの情報関連科目
 (教授の場合) 博士号取得者または同等以上の業績を有し, 採用時50~60歳位の方
 (助教授の場合) 修士課程修了以上で情報関連分野に関する業績を有し, 採用時27~33歳の方
 着任時期 平成6年4月1日
 提出書類 お問い合わせ下さい
 応募締切 平成5年9月30日
 送付先 514 津市上浜町 1515
 三重大学教育学部長
 教育学部情報教育課程運営委員長 田中啓勝
 Tel. (0592) 32-1211 (ext. 3425, 3445)
 Fax. (0592) 31-9352 (教育学部)

広島修道大学

募集人員 教授, 助教授または講師 1名
 担当科目 統計学
 応募資格 大学院博士課程の単位修得者 (来年3月修得見込みを含む) またはこれと同等の資格・経歴を有し, かつ商学部 (商業・経営・管理科学科) 向けの統計学および全学的教養教育向けの統計学を担当可能な方
 着任時期 平成6年4月1日 (当分の間, 短期大学部に配置されることもあります)
 提出書類 履歴書, 研究業績一覧 (様式あり, 詳細は人事課まで), 著書, 論文など現物もしくはコピー (主要業績は各三部, そのほかについては各一部, ただし著書については一部), 成績証明書, 学位取得証明書, 健康診断書, 推薦書 (任意), 「大学教育改革に対する抱負」と題する小論文 (2000字程度)

応募締切 平成5年9月30日 (消印有効)
 送付先 731-31 広島市安佐南区沼田町大塚 1717
 広島修道大学人事課人事係気付商学部長 鹿子木幹雄 「統計学教員応募」と朱書き書留。

問合せ先 愛媛大学法文学部

募集人員 講師または助手 1名
 所属 経済学科, 応用経済
 担当科目 情報産業論
 応募資格 修士課程修了者またはこれと同等以上の学力があると認められる, 平成6年4月1日時点で満30歳以下の方

着任時期 平成6年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 公刊論文 (修士論文の写しでも可) と著書 (各3部, コピー可), 健康診断書 (国公立病院, 保健所または日赤病院発行のもので, 応募締切日から6カ月以内の診断のもの), 出身 (所属) 大学院の指導教官または研究科長の推薦状 (提出可能であれば)

応募締切 平成5年9月30日 (消印有効)
 送付先 790 松山市文京町 3
 愛媛大学法文学部長 「情報産業論教官応募書類」と朱書き書留。

問合せ先 法文学部経済学科
 Tel. (0899) 24-7111 (ext. 3149)

九州工業大学情報工学部知能情報工学教室

募集人員 教授 1名
 所属 数理情報講座
 専門分野 推論と計算学習, 演繹データベースや知的検索などの知識計算論, 並列計算論, 新しいプログラミング・パラダイムなどの研究分野, 関連する実際のシステムの構築関係

応募資格 博士号取得者でこの分野の研究に業績のある方
 着任時期 平成6年4月予定
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷, 研究・教育に対する抱負 (800字程度)

応募締切 平成5年10月15日
 送付先 820 飯塚市川津 680-4
 九州工業大学情報工学部知能情報教室主任 野村浩郷

問合せ先 情報工学部知能情報教室 原尾政輝
 Tel. (0948) 29-7612
 E-mail: harao@dumbo.ai.kyutech.ac.jp

筑波大学電子・情報工学系

募集人員 (a) 教授または助教授 1名, (b) 助教授または講師 1名

専門分野 (a) 人工知能, (b) 特に限定しないが, 工学システム分野で, たとえばパターン情報処理, 情報通信システム, 回路網理論, システム・制御理論, 自律分散系など

担当科目 工学システム学類の科目
 (a) 人工知能概論, そのほか1, 2年の数学, 実験
 (b) UNIX システムプログラムに関する講義, 演習, そのほかの科目についても相談の上依頼

応募資格 博士号取得者で (a) 50歳前後までが望ましい (b) 40歳前後までが望ましい

着任時期 平成6年4月1日 (希望)
 提出書類 履歴書, 論文リスト, 主要論文別刷 (コピー可), 本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先 (2名)

応募締切 平成5年10月20日
 送付先 305 つくば市天王台 1-1-1

問合せ先 筑波大学電子・情報工学系長 名取 亮 「応募書類」と朱書き書留。
Tel. (0298) 53-4969 Fax. (0298) 53-4991

岐阜大学工学部電子情報工学科

募集人員 助教授3名
所属学科 情報コース大講座「情報基礎」、「応用情報」
専門分野 人工知能・知識工学, 自然言語システム, 画像システム, 音声システム, 生体情報システム(ニューロコンピュータを含む), 医療情報工学, パーチャルリアリティ, CAD/CAM, ロボット, 計算機ネットワークシステム, 並列処理システム, 曖昧システム(ファジィ・コンピュータを含む), 応用情報数理, 知的CAI, 情報機器(VLSIを含む)などのいずれかに関する基礎, あるいは応用分野
担当科目 電子・情報工学関連科目の講義および演習
募集資格 36歳程度までが望ましく, 博士号取得者で大学院博士後期課程の指導ができる方
着任時期 平成6年4月1日までのできるだけ早い時期
提出書類 履歴書, 業績一覧表(論文, 著書, 開発システム, 特許など), 主要論文別刷, 健康診断書, 本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先(2名)
募集締切 平成5年10月30日(適任者が得られ次第, 選考を開始することがあります)
送付先 501-11 岐阜市柳戸1-1
問合せ先 岐阜大学工学部電子情報工学科情報コース主任 後藤宗弘 「情報コース教官応募書類在中」と朱書き書留。
Tel. (0582) 30-1111 (ext. 4550)

福岡工業大学電気工学科

募集人員 教授1名
専門分野 電気・電子に関連した分野
担当科目 機器制御工学または計測制御工学(電気計測, 制御工学, 電気機器, 電力応用, 計算機応用の中から数科目)
募集資格 専門分野に業績があり, 大学院担当可能な(最近5年間に数編以上の学術論文があること)博士号取得者で年齢は60歳以上の方が望ましい
着任時期 平成6年4月1日
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷
募集締切 平成5年10月30日
送付先 811-02 福岡市東区和白東3-30-1
福岡工業大学教務課長 松尾義勝
Tel. (092) 606-3131 (ext. 2242)
Fax. (092) 606-8923
問合せ先 電気工学科教室主任 工藤孝一
Tel. (092) 606-3131 (ext. 2309)

茨城大学工学部システム工学科

募集人員 教授, 助手各1名
所属 機電システム工学講座(夜間主コースも一部負担)
専門分野 (教授)メカトロ関連分野(ロボット, センサなど)
(助手)通信, 信号処理など
募集資格 (教授)博士課程学生の研究指導を行うのに十分な業績のある方
(助手)30歳以下が望ましい
着任時期 平成6年1月1日以降できるだけ早い時期
提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷(コピー可)
募集締切 平成5年10月31日
送付先 316 日立市中成沢町4-12-1
問合せ先 茨城大学工学部システム工学科主任教授 白石昌武
Tel. (0294) 35-6101 (ext. 366)

筑波大学理工学系

募集人員 教授1名
所属 工学システム学類
専門分野 情報理論, 情報通信システムを専門とし, 専門の講義と関連する数学的手法の授業のできる方
応募資格 博士号取得者で50歳前後の方が望ましい
着任時期 決定後なるべく早い時期
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷
応募締切 平成5年10月30日必着
送付先 305 つくば市天王台1-1-1
問合せ先 筑波大学理工学系学系長 石原 武
Tel. (0298) 53-4966 Fax. (0298) 53-5205

豊田工業大学

募集人員 教授5~8名, 助教授5名程度
募集分野 情報システム理論, 情報プロセッシング, 情報/運動変換工学, 熱流体工学, 知的設計工学, 情報統合化創成工学, 極限構造および物性, 分子構造規制, 貴結晶および半導体, 材料構造制御, 界面科学, 応用ビーム工学
応募資格 博士後期3年課程が設置された場合の研究・指導を担当できる方で60歳以下が望ましい
着任時期 遅くとも平成7年4月1日までに着任できること
提出書類 履歴書, 研究業績一覧表, 主要論文別刷, 研究計画書
応募締切 平成5年10月30日必着
送付先 468 名古屋市天白区久方2-12-1
(学)トヨタ学園博士課程設置準備委員会事務局
豊田工業大学副学長 永澤 満
Tel. (052) 802-1111 Fax. (052) 802-6069

宇部短期大学情報計数学科

募集人員 講師1名
担当科目 システムプログラム, オペレーティングシステム, データ構造, プログラミング
応募資格 修士課程修了以上, またはこれに準ずる方で30歳以下の方
着任時期 平成6年4月1日
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷
応募締切 平成5年10月31日
送付先 755 宇部市文京町5-40
宇部短期大学事務総務課長 末広陸男
Tel. (0836) 33-3111 (ext. 2120)
問合せ先 情報計数学科主任 藤永靖彦
Tel. (0836) 35-9542

筑波技術短期大学視覚部(3年制)

募集人員 教授または助教授1名
所属 情報処理学科
専門分野 経営情報処理, 情報処理一般またはその関連分野
応募資格 視覚障害者の教育・研究に熱意を持つ, 博士号取得者または同等以上の教育・研究の能力のある方
着任時期 平成6年4月1日以降
提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷(コピー可), 推薦書(自薦の場合は本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先(2名程度))
応募締切 平成5年11月30日
送付先 305 つくば市春日4-12-7
問合せ先 筑波技術短期大学情報処理学科 柴田進吉 「教官応募書類」と朱書。
Tel. (0298) 58-9571 Fax. (0298) 58-9579
本学は視覚, 聴覚障害者を対象とする国立3年制の短期大学です。

(財)京都高度技術研究所

募集人員 ①研究職②研究企画職 若干名

職務内容 ①ソフトウェア・メカトロニクス分野の研究開発業務、ソフトウェア工学、人工知能、CAD/CAM/CIM、ロボティクス、LSI、ASICなど
②研究開発の企画・運営・管理など

応募資格 ①修士課程修了以上、または同等以上で32歳位までの方
②大学卒35歳位まで（マネジメントあるいはSE

経験者歓迎）

勤務地 京都
着任時期 随時
提出書類 お問い合わせください
問合せ先 600 京都市下京区中堂寺南町17

（財）京都高度技術研究所研究企画部 杉本俊宏
Tel. (075) 315-8651 Fax. (075) 315-2899

雑 報



○第34回（平成5年度）東レ科学技術賞／科学技術研究助成候補者推薦

技術賞 学術上の業績顕著なもの、学術上重要な発見、重要な発明でその効果が大きいもの、重要な問題を解決し技術の進歩に大きく貢献したもの。

研究助成 基礎的な研究で、その成果が科学技術の進歩、発展に大きく貢献すると考えられる独創的・萌芽的研究を活発に行っている若手研究者。

推薦締切 9月15日（学会）
問合せ先 279 浦安市美浜1-8-1 東レビル
（財）東レ科学振興会
Tel. (0473) 50-6103 Fax. (0473) 50-6082

○1993年度「朝日賞」受賞候補者推薦

1993年中の業績を対象として標記の推薦を募集します。

募集締切 平成5年9月6日（月）
問合せ先 104-11 中央区築地5-3-2
朝日新聞社文化企画局 企画第二部「朝日賞」係
Tel. (03) 3545-0131 (ext.5477)
Fax. (03) 3543-3280

○統計数理研究所教員募集

募集人員 助手 1名
所 属 統計教育・情報センター研究情報室
専門分野 統計数理の関連分野を研究している若手研究者
応募資格 修士の学位（外国の学位を含む）を有する者、または研究上の業績がこれに準ずると認められる者。
採用時期 平成5年10月1日以降
提出書類 履歴書、研究業績リスト、研究計画書、推薦書、その他、詳細は問合せのこと。
応募締切 平成5年8月31日（火）
書留便を使用し、表に「教員応募書類在中」と朱書のこと。
提出先及び 106 東京都港区南麻布4-6-7
問合せ先 統計数理研究所 管理部庶務課人事係
Tel. (03) 3446-1501 (ext.215)

訂 正

本誌第34巻（1993）4号、6号、および7号の目次頁の巻頭頁の次に脱落がありましたので、お詫び申し上げますとともに下記のとおり訂正いたします。

第34巻4号 名誉会員 北川敏男先生を追悼する 有川節夫
第34巻6号 名誉会員の紹介
情報処理学会平成4年度功績賞
第34巻7号 名誉会員 山下英男先生を偲ぶ 和田 弘